

平成31年度 港南区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書番号	事業名	31年度		30年度		増△減(31-30)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
1	快適区役所推進事業	4,597	△ 2,690	9,899	2,612	△ 5,302	△ 5,302
2	総合案内充実事業	3,562	3,562	2,904	2,904	658	658
3	区制50周年記念事業	8,130	8,130	2,130	2,130	6,000	6,000
4	わかりやすい情報提供事業	290	290	3,955	3,955	△ 3,665	△ 3,665
5	こうなん区政推進事業	5,010	5,010	2,740	2,740	2,270	2,270
6	こうなんの「エコ活。」推進事業	2,870	2,870	2,820	2,820	50	50
7	都市計画マスタープラン・港南区プラン改定事業	1,450	1,450	745	745	705	705
8	歩行者サポート事業	6,000	6,000	3,000	3,000	3,000	3,000
9	みんなでつくるふるさと港南事業	1,765	1,765	1,320	1,320	445	445
10	ヨコハマ3R夢！推進事業	1,130	1,130	1,556	1,556	△ 426	△ 426
11	うるおいのある美しい街づくり事業	3,945	3,945	4,998	4,998	△ 1,053	△ 1,053
12	地域カステップアップ事業	3,054	3,054	3,036	3,036	18	18
13	ひまわり交流事業	955	955	755	755	200	200
14	区民活動支援センターランチ運営事業	2,735	2,735	3,486	3,486	△ 751	△ 751
15	安全安心まちづくり推進事業	8,575	8,575	7,432	7,432	1,143	1,143
16	災害に強いまちづくり事業	7,762	7,762	7,653	7,653	109	109
17	通学路カラー舗装化事業	5,500	5,500	2,000	2,000	3,500	3,500
18	区民活動・生涯学習支援事業	2,400	2,400	2,801	2,801	△ 401	△ 401
19	地域文化推進事業	720	720	720	720	0	0
20	地域スポーツ応援事業	2,150	2,150	4,010	4,010	△ 1,860	△ 1,860
21	青少年みらい応援事業	6,640	6,640	8,075	8,075	△ 1,435	△ 1,435
22	「切れ目のない」子育て支援事業	910	910	910	910	0	0
23	地域で子育て応援事業	7,608	7,553	7,500	7,427	108	126
24	地域福祉保健活動推進事業	4,445	4,445	3,063	3,063	1,382	1,382
25	健康アクションこうなん5推進事業	6,968	6,968	5,340	5,340	1,628	1,628
26	災害時も地域で見守り推進事業	1,250	1,250	1,000	1,000	250	250

平成31年度 港南区個性ある区づくり推進費【自主企画事業費】一覧

(単位：千円)

事業計画書 番号	事業名	31年度		30年度		増△減(31-30)	
		総額	一財+市債	総額	一財+市債	総額	一財+市債
27	安全で快適な生活推進事業	1,647	1,647	1,360	1,360	287	287
28	高齢者元気応援事業	2,660	2,660	1,709	1,709	951	951
29	障害者いきいき生活応援事業	2,450	2,450	1,776	1,776	674	674

No.	1
-----	---

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	区庁舎・区民利用施設環境改善	事業開始年度	平成16年度
------	--------	---------	----------------	--------	--------

事業名	快適区役所推進事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	○
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	1
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,597		7,287			△ 2,690
前年度	9,899		7,287			2,612
増△減	△ 5,302	0	0	0	0	△ 5,302

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	12,919	12,897	9,899	予算	事業費	9,000	9,000
	メリット+一般財源	5,246	5,224	2,612		一般財源	1,713	1,713
決算	事業費	13,284	12,750	11,148				
	メリット+一般財源	4,812	4,108	3,998				

方針に関する決裁種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	お客様である区民の方が、区役所等での時間を快適に過ごしていただけるよう、庁舎環境等の整備・改善を実施します
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等

区庁舎等、部分的な改修や修繕を実施することにより、効果的にお客様環境の改善を図ります。また、区民にとってより良い区役所となるよう、費用対効果を考慮しながら、迅速に対応していくことが必要です。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望		
-------------	------------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 正確・丁寧な行政サービスの提供
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市庁舎管理規則
------------	-----------

【実績の推移・今後見込み】

区庁舎や区民利用施設がお客様にとってわかりやすく使いやすいよう環境改善に取り組んでまいります。

【実施内容】

- ・お客様環境の改善(わかりやすい区役所 ・施設の環境整備改善 ・誰でも使いやすい区役所)
- ・人権講演会
- ・「データブック港南」発行

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

お客様が安心して区役所等を利用できるよう防災や健康づくりに配慮した環境づくりに取り組みます。

【区制50周年の事業展開】

懸垂幕等により区庁舎や区民利用施設において、区制50周年であることをPRします。

【障害者就労施設等からの調達取組】

区庁舎外構植栽管理委託やトイレトペーパーの盗難防止のためのスタンプ押印委託等を発注します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
お客様環境の改善	自 3,881	自 8,733	△ 4,852	区庁舎完成による減
人権講演会	自 316	自 316	0	
「データブック港南」発行	自 400	自 400	0	
ハマロードサポーター、愛護会等活動支援		自 450	△ 450	他事業にて実施による減
			0	
			0	
事業費合計	4,597	9,899	△ 5,302	
内訳				
自主企画事業費	4,597	9,899	△ 5,302	
重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

港南区区民意識調査、広聴情報データシステム、窓口サービス満足度調査、窓口外部評価

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 塩田 洋司	係長 丸山 真隆	予算調整係 森 ゆかり
--------------------	-------------	-------------	----------------

予算区分	区役所総務費	性質・課題区分	窓口サービス向上	事業開始年度	平成16年度
------	--------	---------	----------	--------	--------

事業名	総合案内充実事業
-----	----------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	2
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,562					3,562
前年度	2,904					2,904
増△減	658	0	0	0	0	658

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算	2,160	2,286	2,904
決 算	2,160	2,286	2,904
予 算	1,834	1,906	2,003
決 算	1,834	1,906	2,003

歳出	32年度	33年度
予 算	3,562	3,562
決 算	3,562	3,562

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要(目的)	総合案内窓口にて接客経験豊富なスタッフを配置し、的確で迅速、親切で丁寧な案内を行います。また、気付いた点などを情報共有し、区役所全体の接客・サービス向上を図ります。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	窓口案内サービスは、区役所において最も区民が利用する基本的サービスであり、より良いサービス提供を心掛けていくことが大切です。区役所での手続きは頻度も少ないため馴染みがなく、分かりにくい場合も多くあることから、親切で丁寧な対応が求められています。また、区役所業務以外の手続や相談での来庁者も多く、その際にも適切な案内が必要です。
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	港南区運営方針 正確・丁寧な行政サービスの提供
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

総合案内には1日約300人の来庁者が訪れ、手続や申請・相談窓口など多様なお問合せにお応えしています。案内業務を円滑に遂行するためには、他課との連携・情報共有が欠かせないため、引き続き情報提供を依頼するとともに、総合案内に寄せられた声や案内員(コンシェルジュ)の改善提案を積極的に庁内へ発信し、区役所全体でお客様目線の醸成、接客・サービス向上を図ります。

案内件数	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度見込
	57,972件	67,560件	89,634件	89,634件	89,634件

【実施内容】

区役所総合案内窓口にて接客経験豊富な、民間の専門スタッフを配置することで、区民目線に立った的確で迅速、親切丁寧な対応を行い、来庁者のニーズを満たします。

配置時間：平日(月～金曜日)午前8時30分～午後5時、第2・4土曜日午前9時～正午

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

支援が必要な来庁者に対しては、より丁寧で分かりやすい案内を心掛けます。

【区制50周年の事業展開】

総合案内カウンターに、積極的にPRののぼりなどを設置します。

【障害者就労施設等からの調達取組】

来庁者に対する案内業務であり、調達については事務用品程度です。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ひまわりコンシェルジュ配置事業	3,562	2,904	658	1日当たりの配置時間増加による増、神奈川県最低賃金増加額分の増
事業費合計	3,562	2,904	658	
内 自主企画事業費	3,562	2,904	658	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

案内件数：ひまわりコンシェルジュによる日ごとの総合案内での案内件数カウントの合計

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	広報相談係
	林 豪	半浦 淳	酒井 孝徳

予算区分	街づくり推進費 地域コミュニティ費 区役所総務費	性質・ 課題区 分	地域まちづくり 地域コミュニティ 区庁舎・区民利用施設環境改善	事業開始年度	平成30年度
------	--------------------------------	-----------------	---------------------------------------	--------	--------

事業名	特記事項	中期計画-38の政策	事業評価 書番号
区制50周年記念事業	中期計画-38の政策	政策番号	事業評価 書番号
	中期計画-行政運営	主な施策番号	
	中期計画-財政運営		
	重点事業		
	新規・拡充		
	温暖化対策関連事業		

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	8,130					8,130
前年度	2,130					2,130
増△減	6,000	0	0	0	0	6,000

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予	事業費	0	0	0	予	事業費	1,000	0
算	メリット+一般財源	0	0	0	算	一般財源	1,000	0
決	事業費	0	0	0	方針に関する決裁 種別( )			
算	メリット+一般財源	0	0	0	有:件名( )、日付(年月)			
				(無)				

事業の概要 (目的)	平成31年に区制50周年を迎えるに当たり、区と地域が一体となって機運を盛り上げていく必要があります。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	平成31年に区制50周年を迎えるにあたり、区と地域が一体となって機運を盛り上げていく必要があります。
地域の課題等の収集手段	8 その他
2 運営方針等との関係	II 目標達成に向けた施策 地域の皆さまと協働で進める地域づくり
3 根拠法令・要綱等	

【実績の推移・今後見込み】

	平成29年度	平成30年度	区制50周年 平成31年度	平成32年度
区制50周年実行委員会	立ち上げ	実施	実施	解散

【実施内容】

- 区制50周年記念事業実行委員会及び各部会の開催
- 区制50周年記念事業、イベントの実施、各種広報

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

区制50周年記念事業は、子どもから高齢者まで多くの区民が参加できるような内容を検討します。

【区制50周年の事業展開】

【障害者就労施設等からの調達取組】

物品等発注の際に、可能な限り、当該施設からの発注を検討します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区制50周年記念事業	自 8,130	自 2,130	6,000	本格始動による増
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	8,130	2,130	6,000	
内 自主企画事業費	8,130	2,130	6,000	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 林 豪	係長 山本 怜子	係長 長岡 央子 松川 麻美
--------------------	-----------	-------------	----------------------

予算区分	広聴広報相談費	性質・課題区分	広報・広聴	事業開始年度	平成10年度
------	---------	---------	-------	--------	--------

事業名	わかりやすい情報提供事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	○
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	4
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	290					290
前年度	2,290					2,290
増△減	△ 2,000	0	0	0	0	△ 2,000

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	2,390	4,362	1,750	予算	事業費	2,290	290
	メリット+一般財源	2,084	4,081	1,750		一般財源	2,290	290
決算	事業費	2,199	3,701	1,780	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付( 年 月 ) 無			
	メリット+一般財源	1,813	3,563	1,780				

事業の概要(目的)	(1)的確な情報提供サービスの実施 (2)区トップページの管理 (3)広聴(市民からの提案及び情報公開請求の受付)
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	(1)多岐に渡る問合せに的確に対応するため、多様な情報提供ツールの用意が求められています。 (2)インターネットの普及により、必要な情報の的確な管理が求められています。 (3)多様化かつ複雑化する地域の課題に対し、区民からの要望・提案に的確に応えていくことが求められています。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
2 運営方針等との関係	港南区運営方針 正確・丁寧な行政サービスの提供
3 根拠法令・要綱等	横浜市の保有する情報の公開に関する条例、横浜市個人情報の保護に関する条例、「市民の声事業」の実施に関する取扱要綱、行政情報ネットワークの活用に応じた基本方針

【実績の推移・今後見込み】

●区民生活・防災マップ

年度	27	28	29	30	31
発行部数	-	20,000	-	20,000	-

(内訳) 転入者配布分：7,000部/年、希望者配布分：3,000部

●広聴受付件数

年度	27	28	29	30	31
受付件数	280	471	779	158※	-

※30年度は8月末現在、他局区受付件数は含まず

【実施内容】

- (1)的確な情報提供：区民生活・防災マップの発行及び配布(隔年20,000部)※31年度は発行年に該当しません  
手続き・届出チェックシート(8種類、各約1,000枚/年)  
情報コーナーでの広報印刷物の受け入れ、配布(年間約3,000種類/年)
- (2)区トップページの管理：必要な情報にアクセスしやすいよう、トップページの掲載情報を整理します。
- (3)「市民からの提案」等広聴案件及び情報開示請求の受付

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

地域防災拠点・広域避難場所等の防災情報を「区民生活・防災マップ」で提供します。また、区Webサイトを活用し、区民に対して防災・防犯等の緊急情報を提供します。

【区制50周年の事業展開】

港南区Webサイトに設置した区制50周年記念サイトを活用し、積極的なPRと区民への情報提供を行います。

【障害者就労施設等からの調達の取組】

調達については事務用品程度です。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
情報提供の充実	自 290	自 2,290	△ 2,000	区民生活マップ発行年でないことによる減
			0	
事業費合計	290	2,290	△ 2,000	
内 自主企画事業費	290	2,290	△ 2,000	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

広聴受付件数：広聴データベースシステムによる集計結果

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 林 豪	係長 半浦 淳	広報相談 係 北村 絵美
--------------------	--------	---------	--------------

（様式3-1） 平成31年度 事業計画書〔自主企画事業費〕

〔 港南区 区政推進 課 〕

No.	5
-----	---

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成7年度
------	---------	---------	---------	--------	-------

事業名 こんな区政推進事業	特記事項		中期計画-38の政策 政策番号 主な施策番号	事業評価 書番号 5
	中期計画-38の政策	中期計画-行政運営		事業評価 書番号
	重点事業			
	新規・拡充			
	温暖化対策関連事業			

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,010					5,010
前年度	2,740					2,740
増△減	2,270	0	0	0	0	2,270

歳出	27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
				事業費	一般財源		
予算	4,275	1,660	4,180	1,700	5,000		
決算	4,275	1,660	4,180	1,700	5,000		
決算	4,177	1,621	4,640				
決算	4,177	1,621	4,640				

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要 (目的)	区民ニーズや地域課題を的確に把握し関係部署等との連絡調整を行うとともに、区運営方針の区民への適切な情報提供を行います。
---------------	---

(説明)  
1 地域の課題等

- 区政運営の推進には、次のことが必要です。  
 (1) 区民意識調査等から区民の意見を集約するなど、地域ニーズを十分に把握し、関係部署と共有すること。  
 (2) 区運営方針や区の魅力を幅広く区民にわかりやすく伝えること。  
 (3) 必要に応じて現地調査を実施し、区の状況を的確に把握すること。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	区運営方針 目標達成に向けた組織運営「地域と同じ目線で組織運営！」「チーム港南として連携力をアップ！」		
3 根拠法令・要綱等	区における総合行政の推進に関する規則		

【実績の推移・今後見込み】	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度
区運営方針の地域・団体等への説明	15地区、13団体	15地区、13団体	15地区、13団体	15地区、13団体	15地区、13団体
区民意識調査	—	4,000件	—	4,000件	—

- 【実施内容】  
 (1) 区運営方針策定・推進  
 区政の基本目標や目標達成に向けた取組を区運営方針としてまとめ、施策や事業を地域の皆さまへわかりやすく情報提供します。また、各施策の実施状況について、進捗管理を行います。  
 (2) 区民意識調査  
 地域のニーズや課題を把握し、施策・事業に活用できるよう区民意識調査を実施します。  
 (3) 区民・区内で活動する団体や事業者・関係部署等との連絡調整  
 区民との協働によるまちづくりを推進するため、区民、自治会・町内会、団体、関係部署等との連絡調整を行います。  
 【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】  
 重点テーマに関する各課の取組・連携が進むよう、運営方針の策定及び四半期管理を行います。また、重点テーマに関する取組をわかりやすくまとめ、地域の皆さまへ情報提供します。

【障害者就労施設等からの調達の取組】  
 委託など、できる限り障害者就労施設等への調達可能性を検討します。

【区制50周年の事業展開】  
 区民意識調査の実施にあたり区制50周年をPRしていきます。

【事業費の内訳】	細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
	1 区政推進事業	240	240	0	
	2 区民意識調査	3,600		3,600	隔年実施
	3 連絡調整	1,170	2,500	△ 1,330	執行見直しによる減
	事業費合計	5,010	2,740	2,270	
内	自主企画事業費	5,010	2,740	2,270	
訳	重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】  
 港南区区民意識調査、広聴情報データシステム、窓口サービス満足度調査、窓口外部評価

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	林 豪	山本 怜子	菓子 千尋

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	水・緑環境保全	事業開始年度	平成22年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	こうなんの「エコ活。」推進事業
-----	-----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
10	4
12	1

事業評価書番号	6
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,870					2,870
前年度	2,820					2,820
増△減	50	0	0	0	0	50

歳出		27年度	28年度	29年度
予	事業費	3,660	2,610	2,780
算	メリット+一般財源	3,660	2,610	2,780
決	事業費	3,540	2,512	2,593
算	メリット+一般財源	3,540	2,512	2,593

歳出		32年度	33年度
予	事業費	3,070	3,070
算	一般財源	3,070	3,070

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	環境未来都市として、「横浜市地球温暖化対策実行計画」の目標を達成するため、省エネ、温暖化対策に取り組みます。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	「横浜市地球温暖化対策実行計画」の目標を達成するため、各家庭での取組が重要であり、区をあげて各家庭や地域レベルでの取組を普及・啓発する必要があります。			
----------	---	--	--	--

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	8 その他		
-------------	-----------	-------	--	--

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 施策4 住み続けたいまちづくり
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	地球温暖化対策の推進に関する法律、横浜市環境の保全及び創造に関する基本条例、「横浜市環境管理計画」、「横浜市地球温暖化対策実行計画」
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

省エネ・脱温暖化をテーマとする「エコ活。」事業について、区民のエコに対する意識をより高め、区民、事業者、区役所が一体となって取組を推進していくため、引き続き地域イベントや会議等の場を活用した普及啓発を行います。

○ゴーヤの苗の配布(保育園、小学校、中学校へ10苗ずつ)

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31見込み
施設数	37	32	31	31	30	30

○廃食油：横浜市温暖化対策推進協議会が実施する廃食油回収について、平成26年度からイベントでの回収支援を開始。平成27年度からはイベントでの回収に加え、自治会町内会における定期回収の取組支援を実施・継続中(14自治会町内会)。平成31年度以降もイベントでの回収及び自治会町内会での定期回収に向けて、協議会と自治会町内会等との連絡調整など継続的な支援を実施。

公共施設へのLED設置、人感センサーの設置

年度	H27	H28	H29	H30予定	H31見込み
施設数	7	2	3	3	3

公共施設の緑化(場所は地域振興課が調整)

年度	H27	H28	H29	H30予定	H31見込み
施設数	5	1	0	0	2

【実施内容】

1 推進本部

港南区地球温暖化対策推進本部委員と連携した地球温暖化対策の推進のため、本部総会を実施。

2 普及啓発

- ・イベント等での普及啓発：ゆめワールドでの啓発やカーボン・オフセットの実施。区内のキャンペーン、七夕まつり等での啓発。
- ・横浜市温暖化対策推進協議会が実施する廃食油回収の取組(イベントでの回収及び自治会町内会等での定期回収)を継続支援。

3 省エネ、節電推進事業  
区民利用施設等へのLED・人感センサーの導入。（場所は地域振興課が調整）

4 緑化推進  
緑のカーテンの実施普及に向けて、ゴーヤの種・苗を保育園・学校等に配布。  
公共施設の緑化（場所の選定と契約は地域振興課が行う）  
各施設での取組状況をHP等で紹介することで普及啓発を実施。  
区民向けゴーヤ苗の配布。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

- ・エコ活の啓発、緑化、公共施設の省エネ・節電は、温暖化対策・環境保全を推進し、広い意味での防災・減災につながっている。
- ・ゴーヤ苗の配布時にローリングストックのパンフレットを配布するなど、機会をとらえて、防災・減災のPRを行う。
- ・安心安全キャンペーン、ゴーヤ苗配布時等に健康レシピやウオーキングPRパンフレットを配布。
- ・廃食油回収を自治会や商店街で行うことで、ゆるやかな地域交流の場を創生。

【区制50周年の事業展開】

安心安全キャンペーン、ゴーヤ苗配布などのイベント時に配布するチラシでPRを行う。

【障害者就労施設等からの調達取組】

委託など、できる限り障害者就労施設等への調達可能性を考える。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
推進本部費	自 90	自 140	△ 50	
省エネ、節電推進	自 1,700	自 1,700	0	
普及啓発	自 550	自 800	△ 250	環境絵日記終了による減
緑化推進	自 530	自 180	350	公共施設の緑化推進による増
			0	
			0	
事業費合計	2,870	2,820	50	
内 自主企画事業費	2,870	2,820	50	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

イベント参加者アンケート結果。過年度のゴーヤ苗希望校・園の実績数。公共施設の緑化・LED化希望モニタリング調査。

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整 係
	林 豪	山本 怜子	松川 麻美 長岡 央子

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	地域まちづくり	事業開始年度	平成28年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	都市計画マスタープラン港南区プラン改定事業
-----	-----------------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
20	1~5
21	1~4,6
22	1~6

事業評価書番号	7
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,450					1,450
前年度	745					745
増△減	705	0	0	0	0	705

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算		1,070	1,485
決 算		1,070	1,485
予 算		1,070	1,485
決 算		1,070	1,485

歳出	32年度	33年度
予 算	0	
決 算	0	

方針に関する決裁 種別( )  
 有(件名)、日付(年月)  
 無

事業の概要(目的)	人口減少・高齢化等の社会経済状況の変化に対応するため、平成17年7月に策定された、横浜市都市計画マスタープラン港南区プランを改定します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等

横浜市都市計画マスタープラン港南区プランは、策定から10年が経過し、人口減少・高齢化等の社会経済状況が変化の中で、地域の実情に応じた見直しが必要となっています。このため、平成25年3月に改定された横浜市全域に関する横浜市都市計画マスタープラン全体構想との整合を図りつつ、港南区の特徴を生かした区プランとして改定する必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等
-------------	------------

2 運営方針等との関係 平成30年度区政運営方針 II 目標達成に向けた施策  
 1 安全・安心のまちづくり、4 住み続けたいまちづくり

3 根拠法令・要綱等 都市計画法

【実績の推移・今後見込み】

- ・H28年度 基礎調査、改定方針作成
- ・H29年度 現行区プラン等意見募集、素案作成作業
- ・H30年度 素案作成・意見募集、原案作成・意見募集
- ・H31年度 都市計画審議会、改定版印刷・公表

【実施内容】

30年度に行った改定原案の意見募集結果を踏まえ、改定案を作成します。  
 改定案を都市計画審議会に諮り、改定区プランを作成します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】  
 改定区プランに、都市防災の方針を定めます。

【区制50周年の事業展開】

【障害者就労施設等からの調達の取組】

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
マスタープラン改定業務	1,450	745	705	区マス改定版印刷費の増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,450	745	705	
内 自主企画事業費	0	0	0	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

国勢調査、区民意識調査、住宅土地統計調査、都市計画基礎調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	林 豪	窪田 明仁	岩井 悠希

予算区分	街づくり推進費	性質・課題区分	土木関係・公園	事業開始年度	平成28年度
------	---------	---------	---------	--------	--------

事業名	歩行者サポート事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
20	4

事業評価書番号	8
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,000					6,000
前年度	3,000					3,000
増△減	3,000	0	0	0	0	3,000

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費		3,000	3,000	予算	事業費	6,000	6,000
	メリット+一般財源		3,000	3,000		一般財源	6,000	6,000
決算	事業費		3,000	6,442	方針に関する決裁 種別( )			
	メリット+一般財源		3,000	6,442	有:件名( )、日付(年月)			
					無			

事業の概要(目的)	超高齢社会に対応するため、高齢者が日常生活や災害時の避難通路として公道を安全で安心して歩きやすいと実感できる整備を行います。具体的には、階段への手すりの設置や補修などを行っています。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	港南区の特徴として起伏のある地形のため階段が多く、高齢者(65歳以上)の数が18区中6番目で、上位に位置しています。そのため、高齢者が歩きやすいと感じる道路の工夫が必要です。
----------	---

地域の課題等の収集手段	6 区民要望
-------------	--------

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 目標達成に向けた施策 施策4 住み続けたいまちづくり
-------------	------------------------------------

3 根拠法令・要綱等	福祉のまちづくり条例
------------	------------

【実績の推移・今後見込み】						
	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み
手すり延長(m)	63	34	306	158	79	120
道路局予算(円)	2,800,000	1,650,000	7,442,000	10,379,880	2,925,000	3,000,000
区づくり推進費(円)	0	0	3,000,000	6,442,200	3,000,000	6,000,000

【実施内容】  
港南区は高齢者の数が多いため、高齢者が歩きやすいと感じる道路の工夫が必要です。そこで、公道の階段に手すりを設置、または現在ある手すりの補修などを行うことで、高齢者の安全と安心を確保します。そうすることで外出意欲がより高まり、健康づくりにもつながります。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】  
階段に手すりを設置することで、高齢者は階段の昇り降りに際し安心感が得られ、外出意欲がより高まり、健康づくりにつながります。

【区制50周年の事業展開】  
特になし

【障害者就労施設等からの調達取組】  
特になし

【事業費の内訳】						
細目事業名	本年度	前年度	差引	説明		
手すり設置・補修	重 6,000	自 3,000	3,000	手すり(75,000円/m×80m)		
			0			
			0			
			0			
			0			
			0			
事業費合計	6,000	3,000	3,000			
内 自主企画事業費	6,000	3,000	3,000			
内 重点事業	6,000	0	6,000			

【根拠とするデータ等】

横浜市統計(行政区別65歳以上人口及び割合) (30年1月1日現在)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 渡辺 吉清	係長 大塚 陽三	道路係 横溝 恭一
--------------------	-------------	-------------	--------------

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[ 港南区 区政推進課 ]

No.	9
-----	---

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成23年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名	みんなでつくるふるさと港南事業
-----	-----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
13	4
23	3

事業評価書番号	9
事業評価書番号	

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,765					1,765
前年度	1,320					1,320
増△減	445	0	0	0	0	445

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	1,190	1,380	1,380	予算	事業費	1,200	1,200
	メリット+一般財源	1,190	1,380	1,380		一般財源	1,200	1,200
決算	事業費	1,188	1,310	1,112	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	1,188	1,310	1,112				

事業の概要(目的)	港南区を次世代に引き継げる住みよいまちとするため、区民同士が川・緑地などの自然環境や住環境の保全・改善に取り組むことにより、愛着を感じてもらい、港南区の将来像「みんなでつくるふるさと港南」の実現を目指します。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	「都市計画マスタープラン 港南区プラン」の中で、港南区の将来像として「みんなでつくるふるさと港南」が掲げられており、「ふるさと港南」を感じられる環境を守る活動と、「将来に向けたふるさと港南」をつくる活動(過去・現在・未来へのつながり)が必要です。
地域の課題等の収集手段	8 その他
2 運営方針等との関係	H30区政運営方針 施策4「住み続けたいまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例

【実績の推移・今後見込み】

- ひまわりを活用した区の活力アップ  
平成23年度から保育園や公園を中心に行っているひまわり栽培を通じた交流は、着実に深化しており、その多くを地域主体で実施している。地域主体の継続的な交流となるよう最小限の支援を行うとともに、保育園の負担が少なくなるよう交流の報告の仕方を工夫する。平成29年度から区内事業者との連携事業「こんにちは! こんなんbaby誕生プレゼント」の事業執行を移管しており区内事業者、他課と連携して業務遂行を行う。「ひまわり写真館」については、例年100枚以上の応募があるため、今後も引き続き実施する。(平成29年度応募数:132枚)
- 直売会  
平成30年度は6月から8月、10月から12月の月3回程度開催。毎回開始時刻には20名から30名程度並ぶ盛況ぶりを見せ、区民の地元港南区野菜への関心が伺え、区民と農家との交流も増した。
- まちの魅力発信  
50周年を機にまち自慢ガイドブックをリニューアルするため、既存のガイドブックの内容について現状確認・再編集を行った。

様式3-1

【実施内容】

1 ひまわりを活用した区の活力アップ

(1) ひまわり栽培交流事業

保育園及び公園などでのひまわり栽培を通じて、地域が主体となって行う世代間交流を支援する。

(2) 区の花「ひまわり」定着事業（ひまわり写真館）

写真募集を行い、応募作品をさまざまな機会を通じて区民の皆さまに見ていただくことにより、区の花「ひまわり」の定着を図る。ひまわり写真はホームページで紹介するとともに商店街や地下鉄の駅、区役所1階ホールで展示を行う。また、区制50周年に向けて活用方法を検討する。

(3) こんにちは！こうなんbaby誕生プレゼント

新たに港南区民となる出生児を対象に、こんにちは赤ちゃん訪問員が各家庭を訪問する際に、区の花「ひまわり」柄のオリジナル・ミニタオルをお渡しし、区の花「ひまわり」を広く周知する。（区内事業者と連携：オリジナルタオル制作、名入れ刺繍の無料提供）

2 直売会

港南区内の農家の方に区役所1階にて直接販売していただき、区民に地元港南区産の野菜を提供することで地産地消を推進する。

3 まちの魅力発信

50周年を機にまち自慢ガイドブックについて、50周年式典での配布を目指し、編集・デザイン・印刷を行う。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

こんにちは！こうなんbaby誕生プレゼントで赤ちゃん訪問員の訪問のきっかけづくりを行う、また、ひまわり栽培交流で多世代の交流を行うことにより、「見守り・支えあい」を促進する。

また、食生活等改善推進員との連携で、直売会にてレシピの配布を行うことにより、「健康づくり」を推進する。

【区制50周年の事業展開】

各種イベントや交流事業の際にパンフレットやチラシを配布する。

【障害者就労施設等からの調達取組】

ひまわり写真館応募者への返礼品を、障害者就労施設から調達する。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 ひまわりを活用した区の魅力アップ	自 945	自 850	95	リーフレット増刷による増
2 直売会	自 20	自 20	0	
3 まちの魅力発信	自 800	自 450	350	デザイン修正・印刷による増
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,765	1,320	445	
内 自主企画事業費	1,765	1,320	445	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

区内出生者数の推移等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	企画調整係
	林 豪	山本 怜子	松川 麻美

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成8年度
------	-----------	---------	------	--------	-------

事業名	ヨコハマ3R夢！推進事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	○

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	6
12	2

事業評価書番号	10
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,130					1,130
前年度	1,556					1,556
増△減	△ 426	0	0	0	0	△ 426

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	1,724	1,724	1,654	予算	事業費	1,130	1,130
決算	メリット+一般財源	1,724	1,724	1,654	決算	一般財源	1,130	1,130
決算	事業費	1,675	1,710	1,043	方針に関する決裁 種別( )			
決算	メリット+一般財源	1,675	1,710	1,043	有:件名( )、日付(年月)			
(無)								

事業の概要(目的)	横浜市一般廃棄物処理基本計画(ヨコハマ3R夢プラン)に基づき、区内で排出されるごみの資源と総量の削減目標を設定し、達成する取り組みを進めます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	ヨコハマ3R夢プランの第3期推進計画期間の2年目であり、計画に基づいた港南区の削減目標が設定され、更なる分別の理解の徹底と3Rの推進が必要となっている。
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望
-------------	------------	--------

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 施策4 住み続けたいまちづくり
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市廃棄物等の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例、港南区地球温暖化対策・ヨコハマ3R夢推進本部設置要綱、横浜市一般廃棄物処理基本計画等
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

港南区ごみと資源の総量(年間)	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度見込
	52,310	50,770	49,970	48,781	48,001	47,112	※

※31年度の見込み額は、30年度実績値(推計値)を基に算出するため、推計値の出る年度末までは未定。

【実施内容】

- ヨコハマ3R夢推進本部総会(前年度実績報告と本年度の目標設定・事業予定を決定)  
実施回数：1回(5月)、対象：連合町内会長、環境事業推進員地区代表、各種団体会長、事業者等
- ヨコハマ3R夢推進大会(街の美化活動及びごみ減量化・リサイクル活動の推進に功労があった個人・団体を表彰) 実施回数：1回(3月)、対象：港南区の個人、団体
- ヨコハマ3R夢啓発(地域イベントでのブース出展、保育園や小中学校への出前教室、百貨店・スーパー店頭等での啓発で3R夢プランの周知、啓発を実施。)  
実施回数：地域イベント、スーパー店頭等での啓発30回以上。保育園、小中学校への出前教室30回以上。  
対象：港南区民
- 食品ロス削減の取り組み(フードドライブの取り組みを港南事務所・区社協等と連携して実施。食品ロス削減啓発のための講演会実施。)  
フードドライブ食品回収回数：3回  
講演会実施回数：3回、対象：港南区民
- 啓発印刷物の作成(3R夢関連事業を区民にわかりやすく周知するために、環境事業推進委員だより等の啓発印刷物の作成。)  
実施回数：適宜作成、対象：港南区民
- リユース情報掲示板の運営(生活用品等のリユースを促すため、区民相互で取引が行える掲示板を運営。)  
実施回数：通年、対象：港南区在住・在勤・在学の者

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】  
資源循環局北部事務所と連携して、災害時のトイレについての啓発を行い、トイレパックの備蓄率の向上を図ります。

【区制50周年の事業展開】  
啓発物品に50周年ロゴを入れます。

【障害者就労施設等からの調達の取組】

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
ヨコハマ3R夢推進事業	自 65	自 66	△ 1	実績による減
ヨコハマ3R夢推進大会	自 20	自 40	△ 20	自主作成による減
ヨコハマ3R夢啓発	自 600	自 900	△ 300	啓発物品の効果的な作成による
啓発印刷物作成	自 240	自 490	△ 250	印刷物の仕様見直しによる減
食品ロス削減啓発	自 160	自	160	講演会実施等による増
リユース情報掲示板	自 45	自 60	△ 15	実績による減
事業費合計	1,130	1,556	△ 426	
内 自主企画事業費	1,130	1,556	△ 426	
内訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

平成29年度港南区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進担当 係
	西園 豊	渡邊 格二郎	石崎 裕貴

(様式3-1) 平成31年度 事業計画書【自主企画事業費】

[ 港南 区 地域振興 課 ]

No.	11
-----	----

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	環境美化	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	------	--------	--------

事業名	うるおいのある美しい街づくり事業
-----	------------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
11	6
12	1

事業評価書番号	11
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,945					3,945
前年度	3,520					3,520
増△減	425	0	0	0	0	425

歳出	27年度	28年度	29年度
事業費	4,755	4,755	5,055
メリット+一般財源	4,755	4,755	5,055
決算	4,525	4,661	4,283
決算	4,525	4,661	4,283

歳出	32年度	33年度
事業費	3,945	3,945
一般財源	3,945	3,945

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
(無)

事業の概要(目的)	散乱ごみや不法投棄が無く、花いっぱい美しい街をつくるため、区民・地域団体が一体となって、種々の事業に取り組みます。
-----------	---

(説明)	
1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>駅前広場でのポイ捨てがなくなる実情がある。清掃委託と合わせて、ポイ捨て防止の啓発活動にもさらに力を入れていく必要がある。</li> <li>地域主体の美化活動は川のクリーンアップ、フラワーサポーターの花植え、各地区連合の清掃活動等、活発になっている。行政としてどのように後方支援していくか、常に精査が必要。</li> </ul>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等 6 区民要望
2 運営方針等との関係	港南区運営方針 施策4 住み続けたいまちづくり
3 根拠法令・要綱等	横浜市廃棄物等の減量化・資源化及び適正処理等に関する条例、横浜市空き缶等及び吸い殻等の散乱の防止に関する条例、こうなん地域美化活動補助金交付要綱、港南区フラワーサポーター活動補助金交付要綱 等

【実績の推移・今後見込み】																																																																																																
1 川のクリーンアップ																																																																																																
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">大岡川</th> <th colspan="2">平戸永谷川</th> <th colspan="2">笹下川</th> <th>日野川</th> </tr> <tr> <th>笹下地区</th> <th>上大岡・大久保最戸地区</th> <th>春</th> <th>秋</th> <th>春</th> <th>秋</th> <th>夏</th> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>参加人数(人) 327</td> <td>雨天のため中止</td> <td>600</td> <td>500</td> <td>108</td> <td>165</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>回収量(トン) 0.67</td> <td></td> <td>1.60</td> <td>1.37</td> <td>0.79</td> <td>1.10</td> <td>1.11</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>参加人数(人) 340</td> <td>800</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>166</td> <td>153</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td></td> <td>回収量(トン) 0.85</td> <td>1.95</td> <td>1.30</td> <td>2.88</td> <td>1.21</td> <td>0.86</td> <td>0.68</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>参加人数(人) 300</td> <td>750</td> <td>500</td> <td>700</td> <td>98</td> <td>160</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td></td> <td>回収量(トン) 1.52</td> <td>1.67</td> <td>1.84</td> <td>1.90</td> <td>0.53</td> <td>1.00</td> <td>0.85</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>参加人数(人) 284</td> <td>750</td> <td>600</td> <td>350</td> <td>161</td> <td>144</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td></td> <td>回収量(トン) 0.71</td> <td>1.08</td> <td>1.10</td> <td>2.19</td> <td>0.71</td> <td>0.56</td> <td>0.32</td> </tr> <tr> <td>平成31度(見込み)</td> <td>参加人数(人) 284</td> <td>750</td> <td>600</td> <td>700</td> <td>161</td> <td>144</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td></td> <td>回収量(トン) 0.71</td> <td>1.08</td> <td>1.10</td> <td>1.90</td> <td>0.71</td> <td>0.56</td> <td>0.32</td> </tr> </table>		大岡川		平戸永谷川		笹下川		日野川	笹下地区	上大岡・大久保最戸地区	春	秋	春	秋	夏	平成27年度	参加人数(人) 327	雨天のため中止	600	500	108	165	100		回収量(トン) 0.67		1.60	1.37	0.79	1.10	1.11	平成28年度	参加人数(人) 340	800	700	700	166	153	80		回収量(トン) 0.85	1.95	1.30	2.88	1.21	0.86	0.68	平成29年度	参加人数(人) 300	750	500	700	98	160	160		回収量(トン) 1.52	1.67	1.84	1.90	0.53	1.00	0.85	平成30年度	参加人数(人) 284	750	600	350	161	144	160		回収量(トン) 0.71	1.08	1.10	2.19	0.71	0.56	0.32	平成31度(見込み)	参加人数(人) 284	750	600	700	161	144	160		回収量(トン) 0.71	1.08	1.10	1.90	0.71	0.56	0.32
	大岡川		平戸永谷川		笹下川		日野川																																																																																									
	笹下地区	上大岡・大久保最戸地区	春	秋	春	秋	夏																																																																																									
平成27年度	参加人数(人) 327	雨天のため中止	600	500	108	165	100																																																																																									
	回収量(トン) 0.67		1.60	1.37	0.79	1.10	1.11																																																																																									
平成28年度	参加人数(人) 340	800	700	700	166	153	80																																																																																									
	回収量(トン) 0.85	1.95	1.30	2.88	1.21	0.86	0.68																																																																																									
平成29年度	参加人数(人) 300	750	500	700	98	160	160																																																																																									
	回収量(トン) 1.52	1.67	1.84	1.90	0.53	1.00	0.85																																																																																									
平成30年度	参加人数(人) 284	750	600	350	161	144	160																																																																																									
	回収量(トン) 0.71	1.08	1.10	2.19	0.71	0.56	0.32																																																																																									
平成31度(見込み)	参加人数(人) 284	750	600	700	161	144	160																																																																																									
	回収量(トン) 0.71	1.08	1.10	1.90	0.71	0.56	0.32																																																																																									
2 フラワーサポーター事業	<table border="1"> <tr> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度見込み</th> <th>31年度見込み</th> </tr> <tr> <td>8団体</td> <td>8団体</td> <td>8団体</td> <td>8団体</td> <td>9団体</td> </tr> </table>	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み	8団体	8団体	8団体	8団体	9団体																																																																																					
27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み																																																																																												
8団体	8団体	8団体	8団体	9団体																																																																																												
3 美化活動支援事業	<table border="1"> <tr> <th>27年度実施</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>30年度見込み</th> <th>31年度見込み</th> </tr> <tr> <td>15団体</td> <td>15団体</td> <td>15団体</td> <td>15団体</td> <td>15団体</td> </tr> </table>	27年度実施	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み	15団体	15団体	15団体	15団体	15団体																																																																																					
27年度実施	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み																																																																																												
15団体	15団体	15団体	15団体	15団体																																																																																												

4 港南台・上永谷駅周辺清掃委託事業(障害者施設、地域作業所)

(単位:千円)

		27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み
港南台駅	施設数	6施設	6施設	6施設	6施設	6施設
	委託金額	436	455	454	454	455
上永谷駅	施設数	7施設	8施設	8施設	12施設	12施設
	委託金額	437	443	446	935	1,085

【実施内容】

1. 川のクリーンアップ

地域で行っている川のクリーンアップを実施する団体の活動支援。河川内や沿道の清掃活動を行い、美化意識の向上を図る。

- ・大岡川 (大岡川クリーンアップ実行委員会、笹下連合町内会)
- ・平戸永谷川 (平戸永谷川水辺愛護会)
- ・笹下川 (笹下川再生プロジェクト)
- ・日野川 (日野第一連合町内会)

2. フラワーサポーター事業

公共性の高い場所に花植えやその維持管理を行う団体に対して活動補助金を交付。(9団体を予定)

3. 美化活動支援事業

各地区で実施している町内清掃等地域主体で行われている美化活動に対して補助金を交付。(15団体を予定)

4. 港南台、上永谷駅周辺清掃委託

地域作業所等に駅周辺の清掃作業を委託し、美化環境の改善と障害者施設からの優先調達を図る。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

港南土木事務所、神奈川県横浜川崎治水事務所と連携して、川のクリーンアップ実施時に河川の治水に関する啓発を行い、台風やゲリラ豪雨発生時の河川の増水に対する防災意識の向上を図る。

【区制50周年の事業展開】

啓発物品に50周年ロゴを入れます。

【障害者就労施設等からの調達の取組】

駅周辺清掃作業を障害者施設へ委託する。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
街のクリーンアップ事業	自 2,565	自 2,140	425	上永谷駅清掃回数増等による増
地域美化活動支援事業	自 920	自 920	0	
フラワーサポーター支援事業	自 460	自 460	0	
			0	
			0	
事業費合計	3,945	3,520	425	
内 自主企画事業費	3,945	3,520	425	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

平成29年度港南区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	資源化推進担当 係
	西園 豊	渡邊 格二郎	石崎 裕貴

予算区分	地域コミュニティ費 街づくり推進費	性質・ 課題区 分	地域コミュニティ 商店街振興	事業開始年度	平成6年度
------	----------------------	-----------------	-------------------	--------	-------

事業名
地域カステップアップ事業 ～自治会町内会活動支援、 商店街振興～

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	1

事業評価 書番号	12
事業評価 書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	3,054					3,054
前年度	3,036					3,036
増△減	18	0	0	0	0	18

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	2,451	2,402	3,196	予算	事業費	3,054	3,054
	メリット+一般財源	2,451	2,402	3,196		一般財源	3,054	3,054
決算	事業費	2,593	2,406	4,127	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	2,593	2,406	4,127				

事業の概要 (目的)	「安全で誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指し、地域活動が活性化するように、自治会町内会及び商店街をサポートし、地域力の向上を図ります。新任自治会町内会長向け講習会や、会長感謝会を開催します。
---------------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>自治会町内会への加入率は減少傾向にあり(25年度78.9%、26年度79.0%、27年度77.8%、28年度77.5%、29年度77.3%)、また、新たに就任する会長が多い・役員の成り手不足など、自治会町内会の円滑な運営や活動を行う上での課題があります。</p> <p>これらの自治会町内会の課題を解消し、自治会町内会の活動を活性化するために、新任自治会町内会長等講習会や補助金説明会によるサポートのほか、地域と行政が協働で加入促進に取り組むことが重要です。</p> <p>また、自治会町内会は、行政からの依頼事項も多く、特に自治会町内会長は、地域住民と行政とのパイプ役や協働の推進役として活動されています。そうした活動の労苦に対して感謝の意を表する必要があります。</p> <p>さらに、区内の小売店を中心に結成されている商店街(会)は、低迷を続けており、地域を活性化させるためにも、商店街(会)活性化の支援が必要です。</p>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等    5 区民アンケート    7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	<p>港南区運営方針</p> <p>I 基本目標： 地域の皆さまと協働でつくる「安全で誰もが安心して元気に暮らせるまち」</p> <p>II 目標達成に向けた施策： 地域の皆さまと協働で進める地域づくり</p>
3 根拠法令・要綱等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横浜市地域の絆をはぐくみ、地域で支え合う社会の構築を促進する条例</li> <li>・港南区自治会町内会役員等表彰要綱</li> <li>・港南区自治会町内会長永年在職者表彰要綱</li> <li>・横浜市自治会町内会長永年在職者表彰要綱</li> <li>・自治会町内会に対する依頼業務の取扱について(依命通達)</li> <li>・横浜市商店街の活性化に関する条例</li> </ul>

【実績の推移・今後見込み】
<p>1 新任自治会町内会長等講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度(6月21日開催) 参加者46名</li> <li>・平成27年度(6月13日開催) 参加者36名</li> <li>・平成28年度(6月11日開催) 参加者33名</li> <li>・平成29年度(6月10日開催) 参加者43名</li> <li>・平成30年度(6月9日開催) 参加者40名</li> </ul> <p>2 自治会町内会役員表彰式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度(7月9日開催) 被表彰者42名</li> <li>・平成27年度(7月8日開催) 被表彰者43名</li> <li>・平成28年度(9月2日開催) 被表彰者44名</li> <li>・平成29年度(7月7日開催) 被表彰者35名</li> <li>・平成30年度(31年3月開催予定)</li> </ul> <p>3 自治会町内会長感謝会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度(平成26年3月13日開催) 被表彰者17名</li> <li>・平成26年度(平成27年3月6日開催) 被表彰者9名</li> <li>・平成27年度(平成28年3月9日開催) 被表彰者12名</li> <li>・平成28年度(平成29年3月9日開催) 被表彰者8名</li> <li>・平成29年度(平成30年3月8日開催) 被表彰者10名</li> <li>・平成30年度(31年3月開催予定)</li> </ul> <p>※平成26年度より、在職10年以上の長期在職者については、市民局主催の市長感謝会で表彰する方法に変更</p>

【実施内容】

1 自治会町内会運営のサポート

補助金申請手続きに関することや自治会町内会の運営に関するするなど、自治会町内会活動を行う上での様々な課題に対応できるようサポートします。

(1) 新任自治会町内会長・役員を対象とした講習会の開催

内容： 就任後間もない自治会町内会長及び役員を対象に、地域生活に密着した課題や疑問の解決、不安の解消に役立つ講習会を開催します。併せて、活動歴の長い自治会町内会長を招き、意見交換会を行います。

会場：港南区役所  
日時：平成31年6月予定

(2) 地域活動推進費・地域防犯灯維持管理費補助金等説明会・個別相談会の開催

内容： 補助金の申請については、窓口での相談件数も多く、自治会町内会からも、「個別に相談に乗ってほしい」との要望が多いことから、自治会町内会役員の方の多くが参加しやすい土曜日または日曜日に説明会・個別相談会を実施し、申請を受け付けます。

会場：港南区役所  
日時：平成31年5月予定

(3) 自治会町内会区域図更新

内容： 各自治会町内会が災害対応や加入促進に使用できる区域図について、変更箇所を調査し更新します。

2 自治会町内会長感謝会、自治会町内会役員表彰式（区長表彰）

内容： 自治会町内会長の日頃の御労苦に対して感謝の意を表する感謝会を開催します。併せて、長年、地域活動を行ってこられた自治会町内会役員の方の御労苦に感謝の意を表するため、役員表彰式を実施します。

会場：港南区役所  
日時：平成32年3月予定

3 区制50周年に向けた啓発

内容： 区制50周年に際し、啓発物品の作成を行います。

4 広報物等仕分運搬

内容： 自治会町内会に配布するチラシ・ポスター等の仕分け・配送を一括して委託することで、配布時期の統一や経費の節減を図ります。

時期：平成31年4月～平成32年3月（8・12月を除く）

5 商店街振興

内容： 商店街と協働で「ひまわりの花絵画コンクール」を開催します。  
また、商店街が開催する「まちゼミ」をはじめとした各種イベントについて、広報等で支援します。  
併せて、区制50周年に連携した商店街用啓発物品を作成します。

時期：「絵画コンクール」平成31年7～11月予定  
「港南区まちゼミ」平成31年11月予定

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

自治会町内会長等講習会等において、防災・減災、見守り・支えあい、健康づくりに関する啓発を併せて行います。また、商店街振興事業に関連して、商店街に普段の見守りを依頼するなど連携して取り組みます。

【区制50周年の事業展開】

区制50周年に向けた啓発物品の作成の他、各事業において区民広報を行う際には併せて50周年の周知を行います。

【障害者就労施設等からの調達の取組】

自治会町内会役員表彰式や、自治会町内会長感謝会及びひまわりの花絵画コンクールにおいて、花や記念品の発注を障害者就労施設に行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
新任自治会町内会長等講習	自 35	自 35	0	
補助金交付事業・説明会・個別相談会	自 25	自 25	0	
自治会町内会感謝会・役員表彰式	自 1,539	自 1,599	△ 60	同時開催による減
自治会町内会区域図更新	自 150	自 0	150	実績に基づく増
区制50周年啓発	自 150	自 150	0	
広報物仕分運搬	自 655	自 655	0	
商店街振興	自 500	自 572	△ 72	事業見直しによる減
事業費合計	3,054	3,036	18	
内 自主企画事業費	3,054	3,036	18	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

横浜市自治会町内会加入世帯数及び加入率の推移・区別自治会町内会加入率（平成29年度）、横浜市自治会町内会・地区連合町内会アンケート調査報告書(平成28年度)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域運営推進 係 高梨 由記 高橋 菜々
	馬淵 勝宏	小島 康文	

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[ 港南区 地域振興 課 ]

No.	13
-----	----

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	----------	--------	--------

事業名
ひまわり交流事業

特記事項	
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号

事業評価書番号	13
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	955					955
前年度	755					755
増△減	200	0	0	0	0	200

歳出		27年度	28年度	29年度
予算	事業費	700	700	700
	メリット+一般財源	700	700	700
決算	事業費	695	695	736
	メリット+一般財源	695	695	736

歳出		32年度	33年度
予算	事業費	955	955
	一般財源	955	955

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( ), 日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	青少年の健全育成やふるさと意識の醸成、地域の活性化を図るため、ひまわり生活体験交流事業、ひまわりの種普及事業など、宮城県大崎市との相互交流を展開している「ひまわり交流協会」及びその活動を支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	平成29年度の区民意識調査では、「港南区に住み続けたい」と答えた人が8割を超えています。住み続けたいまちづくりや青少年が健やかに育つまちづくりには、地域の皆さんの港南区への愛着を高めること「ふるさと意識の醸成」や地域の活性化を図ることが大切です。		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望	
2 運営方針等との関係	港南区運営方針「施策3 子ども・青少年が健やかに育つまちづくり」「施策4 住み続けたいまちづくり」		
3 根拠法令・要綱等	港南区ひまわり交流推進事業補助金交付要綱		

【実績の推移・今後見込み】

○大崎市三本木ひまわり交流協会から送られるひまわりの種の区内配布 毎年21,000粒程度

○ひまわり生活体験交流事業

年度	実施日程	実施場所	参加児童数(人)		
			港南区	大崎市	合計
25年度	8月1日～3日	横浜市	18	20	38
26年度	8月6日～8日	大崎市	24	14	38
27年度	7月31日～8月2日	横浜市	13	12	25
28年度	8月8日～10日	大崎市	25	14	39
29年度	7月31日～8月2日	横浜市	20	17	37
30年度	8月8日～10日	大崎市	30	15	45
31年度(見込み)	8月上旬	横浜市	20	20	40

【実施内容】

港南区ひまわり交流協会の活動を支援

- ・相互のシンボルであるひまわりの普及

区の花ひまわりへの愛着を高めるため、大崎市三本木ひまわり交流協会から毎年贈られるひまわりの種を自治会町内会、保育園、小・中・高校、公園愛護会、一般区民等に配布します。H30年度配布実績：600袋(約21,000粒)

・ひまわり生活体験交流の実施

夏休みの3日間、港南区と大崎市の児童（小学4～6年）が毎年交互に相手都市を訪問し、共同生活を送ります。今年度は、大崎市の児童が横浜市を訪問します。

・相互交流の促進

大崎市と港南区の交流をPRするため、大崎市三本木ひまわり交流協会と協力して「こんな子どもゆめワールド」でブースを出店します。

また、地域・商店街等で交流をPRします。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

ひまわり生活体験交流やゆめワールドにおける物産展示等を通じて、港南区ひまわり交流協会に所属する各団体間の相互連携を密にし、日ごろの見守り・支えあいにつなげていきます。

【区制50周年の事業展開】

各事業において、区民広報を行う際には、併せて50周年のロゴマークを掲載し、周知します。

【障害者就労施設等からの調達取組】

ひまわりの種の梱包作業を障害者就労施設に委託します。

【事業費の内訳】

細目事業名		本年度	前年度	差引	説明
ひまわり交流事業	自	955	自 755	200	交流促進事業の増
			0	0	
				0	
				0	
				0	
				0	
事業費合計		955	755	200	
内訳	自主企画事業費	955	755	200	
	重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

港南区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	青少年育成担当
	馬淵 勝宏	朝倉 恭史	川上 さとみ

予算区分	地域コミュニティ費	性質・課題区分	地域コミュニティ	事業開始年度	平成6年度
------	-----------	---------	----------	--------	-------

事業名
区民活動支援センターランチ運営事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	2

事業評価書番号	14
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,735					2,735
前年度	3,486					3,486
増△減	△ 751	0	0	0	0	△ 751

歳出		27年度	28年度	29年度
予算	事業費	3,566	3,486	3,486
決算	メリット+一般財源	3,566	3,486	3,486
決算	事業費	3,660	3,256	3,034
決算	メリット+一般財源	3,660	3,256	3,034

歳出		32年度	33年度
予算	事業費	2,735	2,735
決算	一般財源	2,735	2,735

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	市民活動・地域活動や生涯学習の自主的な活動をサポートし、地域の担い手の育成や地域の一層の活性化に繋げるため、港南区民活動支援センターの運営を行います。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>・平成27年度の区民意識調査によると、地域コミュニティ(地域社会)に必要なこととして、「自分のできる範囲で気軽にボランティアとして参加できる仕組みづくり」が挙げられています。また、同調査では、「地域活動の内容や状況などの情報が入手できる場」も求められています。</p> <p>・区民活動支援センター・ランチでは、中間支援組織として、地域におけるコーディネーターの役割が求められています。しかし、地域ケアプラザ及び地区センター等の区民利用施設もその役割を担っており、支援センターとの連携も図られてきているため、ランチのあり方を見直す時期にきています。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係	港南区運営方針：「2 一人ひとりが元気に暮らせるまちづくり」
-------------	--------------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市市民協働条例 市民活動支援センター地域レベル展開ガイドライン 横浜市生涯学習基本構想 横浜市生涯学習推進指針 港南区民活動支援センター事業要綱 港南区「街のアドバイザー」事業要綱 港南区民活動支援センター・ランチ運営事業補助金交付要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

区民活動支援センター利用実績	27年度	28年度	29年度	30年度見込	31年度見込
利用者数	5,907	6,064	6,439	6,000	6,000
相談件数	794	540	408	500	500

【実施内容】

- (1) 港南区民活動支援センター運営事業(直執行)
  - ・相談・コーディネート
  - ・情報の収集・提供
  - ・機材・会議室等の管理及び貸し出し
  - ・交流場の提供等
- (2) 港南区民活動支援センターランチ運営事業補助金の交付(ランチ事業)
  - ・港南台タウンカフェ
    - 地域交流事業(キャンドルナイト、地域元気フォーラム)、
    - 支援センター・ランチ事業(施設交流会、コラボレーションフォーラム、学び舎ひまわり)ほか
  - ・さわやか港南
    - 地域交流事業(住みよい町やさしい町講座、雑学講座、餅つき、こども落語会)、
    - 支援センター・ランチ事業(同上)ほか

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】  
センター、ランチにて「港南区の防災5か条」「健康アクションこうなん5」のチラシを掲示し防災・減災に関する啓発を行います。

【区制50周年の事業展開】  
区内団体と連携・調整しながら区制50周年の関連事業を実施します。

【障害者就労施設等からの調達の取組】

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
区民活動支援センター運営事業	自 764	自 1,023	△ 259	29年度実績に基づく減
ブランチ運営事業	自 1,971	自 2,463	△ 492	
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,735	3,486	△ 751	
内 自主企画事業費	2,735	3,486	△ 751	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

平成29年度港南区区民意識調査集計結果による

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民活動支援係
	馬淵 勝宏	福岡 英丈	福山 秀子

予算区分	防犯・防災・安全対策費 防犯・防災・安全対策費 地域コミュニティ費	性質・課題区分	交通安全 防犯 地域コミュニティ	事業開始年度	平成20年度
------	---	---------	------------------------	--------	--------

事業名	安全安心まちづくり推進事業
-----	---------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
33	5

事業評価書番号	15
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	8,575					8,575
前年度	6,700					6,700
増△減	1,875	0	0	0	0	1,875

歳出		27年度	28年度	29年度
予算	事業費	7,284	7,682	7,576
	メリット+一般財源	7,284	7,682	7,576
決算	事業費	7,071	7,985	6,971
	メリット+一般財源	7,071	7,985	6,971

歳出		32年度	33年度
予算	事業費	8,575	8,575
	一般財源	8,575	8,575

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	「安全で誰もが安心して暮らせるまち」をめざし、各種団体・関係機関と連携して防犯や交通安全などに取り組みます。また、防犯に関する地域の活動を支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等  
平成29年度の区民意識調査では、「港南区の望ましい将来像」として「治安が良いまち」が63%と最も多く、「重要度が高いと思う地域活動」として「地域の交通安全や防災訓練・防犯パトロールなどの活動」が32%と最も多くなっており、地域では日ごろより安全、安心なまちづくりのため、防犯パトロールを通して防犯灯の設置状況や防犯カメラの設置箇所など点検を行っています。しかし、現在の制度では、開発等で新たに設置が必要な防犯灯や地域の防犯に効果的な防犯カメラの設置について、地域からの要望数にすべて対応できるものではありません。こうしたニーズを受け、地域活動へのさらなる支援の充実を図る必要があります。

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート		
-------------	------------	-----------	--	--

2 運営方針等との関係  
港南区運営方針  
I 基本目標：地域の皆様と協働でつくる「安全で誰もが安心して暮らせるまち」  
II 目標達成に向けた施策：安全・安心のまちづくり

3 根拠法令・要綱等  
港南区地域防犯活動補助金交付要綱、港南区地域子どもの安全対策協議会活動補助金交付要綱、交通安全対策基本法、スクールゾーン路面標示設置要領、スクールゾーン電柱巻標識取付要領、交通安全シルバーリーダーの養成と活動要綱、港南区交通安全シルバリーリーダー連絡会規約、港南区安全安心まちづくり推進協議会規約

【実績の推移・今後見込み】

1 地域防犯活動支援団体数

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度予定	31年度見込み
補助金交付団体数	88団体	85団体	89団体	78団体	87団体	85団体

2 防犯寺子屋実施件数

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度予定	31年度見込み
参加校	21校	21校	21校	21校	21校	21校
対象・件数	1年生	21件	1年生	21件	1年生	21件
	中・高学年	25件	中・高学年	27件	中・高学年	28件
	1年生	21件	1年生	21件	1年生	21件
	中・高学年	29件	中・高学年	29件	中・高学年	29件

3 交通安全対策(スクールゾーン)

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度予定	31年度見込み
電柱巻標識	35箇所	41箇所	60箇所	88箇所	73箇所	73箇所
路面表示	26箇所	34箇所	54箇所	30箇所	16箇所	35箇所

【実施内容】

- 「安全安心まちづくり推進協議会」活動支援  
交通安全、防犯、防火、防災、街の美化等を進めるため、区内主要駅で総合的な啓発活動を実施するとともに、構成団体が独自に実施している各種事業への支援及び連携強化を図ります。  
(1) 上大岡駅・港南台駅でのキャンペーン  
(2) 各季における交通安全運動、安全・安心まちづくり旬間、防犯啓発、火災予防運動など、警察署・消防署と協働によるキャンペーンの実施  
(3) 交通安全・防犯・防火功労者表彰式の開催

2 地域防犯活動の推進

(1) 自主的な防犯活動団体への支援

- ア 防犯活動団体に対して、活動経費の一部を補助します。
- イ 警察署と連携し、地域防犯団体と合同でパトロールを実施します。

(2) 子どもの見守り安全対策

- ア 防犯寺子屋（学校へ出向いての防犯講習）の実施  
小学校1年生及び低、中、高学年を対象として、年齢に応じた防犯講習を実施し、子どもたちへの安全に対する意識を高めます。
- イ 地域子どもの安全対策協議会への支援  
各小学校に設置されている「地域子どもの安全対策協議会」が独自に実施する事業に対して補助金を交付します。
- ウ 港南ひまわり83運動の普及・推進  
地域ぐるみで児童・生徒の登下校を見守る「港南ひまわり83運動」について、啓発活動を行います。

3 交通安全対策

(1) 高齢者への交通安全対策

港南区交通安全シルバーリーダーの活動を支援するため、交通安全教室や研修会を開催します。

(2) 子どもの交通安全対策

「地域子どもの安全対策協議会」の要望に基づき、通学路にある路面標示の補修・新設及び電柱巻標識を更新し

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

登下校時の児童を見守る「83運動」と共に、見守り活動の啓発を安全安心まちづくりキャンペーンや各校で開催される地域子どもの安全対策協議会などで啓発を行います。

【区制50周年の事業展開】

各イベントを通じて、関係団体や区民のみなさまに区制50周年のPRなど啓発活動を行ってまいります。

【障害者就労施設等からの調達取組】

地域防犯活動等に係る啓発物品の発注を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
安全安心まちづくり推進協議会	自 700	自 700	0	
地域防犯活動の推進	自 5,195	自 4,320	875	補助金申請団体数の増
交通安全対策	自 2,680	自 1,680	1,000	スクールゾーン路面表示 マップ作成による増
			0	
			0	
事業費合計	8,575	6,700	1,875	
内 自主企画事業費	8,575	6,700	1,875	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

平成29年度港南区区民意識調査集計結果

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	地域運営推進 係
	馬淵 勝宏	小島 康文	三宅 里矢子 小川田 恵理

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	防災	事業開始年度	平成18年度
------	-------------	---------	----	--------	--------

事業名	災害に強いまちづくり事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	3
35	4
35	6

事業評価書番号	17
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,762					7,762
前年度	7,653					7,653
増△減	109	0	0	0	0	109

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算	6,679	7,048	7,115
決 算	6,679	7,048	7,115
予 算	7,031	7,260	7,400
決 算	7,031	7,260	7,400

歳出	32年度	33年度
予 算	7,000	7,000
決 算	7,000	7,000

方針に関する決裁 種別( )  
 有:件名( )、日付(年月)  
 無

事業の概要(目的)	港南区の防災5箇条を活用し、幅広い世代に向けた自助、共助の啓発を推進することで、地域防災力の更なる強化を図ります。また、より迅速かつ的確な公助の体制強化のため災害対策本部機能の充実を図ります。
-----------	--

(説明)	
1 地域の課題等	地域防災拠点の資機材の早期更新について
地域防災拠点の資機材については、整備から20年が経過して老朽化が進んでいる。危機管理室は平成29年度以降、計画的に資機材の見直し及び更新を実施しているが、現在のペースでは更新までに約20年かかる見込みである。区として、昨年度から引き続き課題認識はあるものの、根本的な解決には至っていない。	
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等    6 区民要望    7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	H30区運営方針 重点取組「1 安全・安心のまちづくり」
3 根拠法令・要綱等	災害対策基本法、横浜市防災計画、港南区防災計画など

【実績の推移・今後見込み】

学校と連携した地域防災拠点運営訓練数	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み	32年度見込み
	13	13	14	15	16

【実施内容】

- 地域防災力の向上事業
  - 在宅避難の推進(家具の転倒防止・トイレパックの普及促進)
  - 子どもや子育て世代への防災啓発
  - 地域防災拠点の機能強化
  - 防災講演会の実施(女性視点を取り入れた防災・減災)
  - 防災ライセンスリーダーのスキルアップと拠点との連携強化
  - 事業者との横断的な防災・減災の推進
- 災害対策本部機能促進
  - 災害時に迅速かつ適切な対応ができるよう、区本部の設備強化
  - 区の職員が効果的に活動できるよう、機材や物資の備蓄を推進

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】  
 関係各課と連携し、子どもや子育て世代や要援護者など幅広い対象に対して防災啓発を進めていく。

【区制50周年の事業展開】  
 50周年のロゴマーク入り防災啓発物品を配布することにより、周年事業の周知を図る。

【障害者就労施設等からの調達取組】  
 子ども向け防災啓発イベントでの景品発注

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 地域防災力の向上事業	重 6,212	重 5,932	280	啓発物品の購入数増加
2 災害対策本部機能促進	重 1,550	重 1,550	0	新庁舎の更なる機能強化
(事業者との連携事業)	重 0	重 171	△ 171	地域防災力の向上事業に計上
			0	
			0	
			0	
事業費合計	7,762	7,653	109	
内 自主企画事業費	7,762	7,653	109	
訳 重点事業	7,762	7,653	109	

【根拠とするデータ等】

港南区区民意識調査、広聴データシステム

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務 係
	塩田 洋司	岡野 将利	關 晶彦

予算区分	防犯・防災・安全対策費	性質・課題区分	交通安全	事業開始年度	平成19年度
------	-------------	---------	------	--------	--------

事業名	通学路カラー舗装化事業
-----	-------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
20	2

事業評価書番号	17
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	5,500					5,500
前年度	2,000					2,000
増△減	3,500	0	0	0	0	3,500

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	2,000	2,000	2,000	予算	事業費	5,500	5,500
	メリット+一般財源	2,000	2,000	2,000		一般財源	5,500	5,500
決算	事業費	2,000	1,935	1,988	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	2,000	1,935	1,988				

事業の概要(目的)	歩行スペースの確保や車両の速度を抑制させるため、路側帯のカラー舗装化による交通安全対策を実施します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>運転者の不注意やモラルの低下による、児童を巻き込んだ事故が各地で発生し、平成28年度には当区で児童の死亡事故が発生していることから、通学児童の安全安心を確保するため、歩道がない通学路等への安全対策を実施する必要があります。</p>
----------	--

地域の課題等の収集手段	8 その他
-------------	-------

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 目標達成に向けた施策 施策4 住み続けたいまちづくり
-------------	------------------------------------

3 根拠法令・要綱等	
------------	--

【実績の推移・今後見込み】 実績は区づくり推進費以外に別途道路局から配布されている予算で実施した合計値です。

	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み
実施箇所	17	18	15	11	11	10	20
延長(m)	2,875	3,586	2,486	2,622	1,463	1,300	2,500

【実施内容】 各小学校で開催される地域子どもの安全対策協議会の要望を踏まえ、通学路の安全確保を最優先に、危険度や地域のバランス等も考慮し、カラー舗装化を実施します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】 路側帯のカラー舗装化を行うことで、車と児童との交通事故(人為的災害)を防災・減災します。

【区制50周年の事業展開】 特になし

【障害者就労施設等からの調達取組】 特になし

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
カラー舗装化	重 5,500	自 2,000	3,500	工事請負費
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	5,500	2,000	3,500	
内 自主企画事業費	5,500	2,000	3,500	
内 重点事業	5,500	0	5,500	

【根拠とするデータ等】

港南区区民意識調査、広聴データシステム

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 渡辺 吉清	係長 大塚 陽三	道路係 佐野 栄一
--------------------	----------	----------	-----------

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	生涯学習	事業開始年度	平成18年度
------	---------------	---------	------	--------	--------

事業名	区民活動・生涯学習事業
-----	-------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	33	1

事業評価書番号	18
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,400					2,400
前年度	2,801					2,801
増△減	△ 401	0	0	0	0	△ 401

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算 事業費	2,926	2,926	2,801
メリット+一般財源	2,926	2,926	2,801
決 算 事業費	2,492	2,623	2,262
メリット+一般財源	2,492	2,623	2,262

歳出	32年度	33年度
予 算 事業費	2,801	2,801
一般財源	2,801	2,801

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要(目的)	市民活動・地域活動や生涯学習の自主的な活動をサポートし、地域の担い手の育成や地域の一層の活性化に繋げるため、さまざまな講座や交流会を開催します。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>・平成27年度の区民意識調査によると、地域コミュニティ(地域社会)に必要なこととして、「自分のできる範囲で気軽にボランティアとして参加できる仕組みづくり」が挙げられています。また、同調査では、「自分の能力・興味に合せて活動を紹介してくれる制度」も求められています。</p> <p>・子育て中の母親が、区の事業や地域活動に参加できるようにするために、一時託児が活用されており、高いニーズがあります。</p> <p>・団体・グループは、活動のPRなど情報を発信できる手段や運営の支援、他の団体との交流を求めています。</p> <p>・子育て、高齢化などの問題を、区民が主体的に学び、共有する機会が求められています。</p>
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	5 区民アンケート	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-----------	-------------

2 運営方針等との関係	港南区運営方針：「2 一人ひとりが元気に暮らせるまちづくり」
-------------	--------------------------------

3 根拠法令・要綱等	横浜市市民協働条例 市民活動支援センター事業展開ガイドライン 横浜市生涯学習基本構想 横浜市生涯学習推進指針 港南区民活動支援センター事業要綱 港南区「街のアドバイザー」事業要綱 港南区民活動支援センター・ランチ運営事業補助金交付要綱、港南区区民企画運営講座運営費補助金交付要綱 港南区一時託児推進事業実施要領
------------	---

【実績の推移・今後見込み】							
	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見	31年度見
グループガイド登録グループ数	257	259	210	243	304	210	210
街のアドバイザー人数	184	195	222	196	200	200	200
タネット登録グループ数	240	229	278	277	252	300	300
タネットアクセス数	34,368	100,201	129,853	97,869	121,249	125,000	125,000

【実施内容】	<p>(1) 地域振興課事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区民企画運営講座の実施</li> <li>・区民企画運営講座交流会の実施</li> </ul> <p>(2) 区民活動支援センター事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設交流会の開催</li> <li>・こうなん活動フォーラムの開催(交流会1回 パネル展1回)</li> <li>・街のアドバイザーを対象にした交流会の開催(1回)</li> <li>・地域ポータルサイト「ひまわりタネット」等を活用した情報提供、運営管理</li> <li>・街のアドバイザーガイド等の発行</li> <li>・情報誌「支援センター通信」の発行(年4回)、街のアドバイザーリストの発行(年2回)</li> <li>・ランチ、区民利用施設等と港南区民活動支援センター間の情報共有に係るメール便の配達</li> <li>・ネットワーク事業             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラザコーディネーター会議への参加</li> <li>・子育て連絡会への参加</li> </ul> </li> </ul>
--------	--

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】	<p>・センター、ランチにて「港南区の防災5か条」「健康アクションこうなん5」のチラシを掲示し防災・減災に関する啓発を行います。</p> <p>・高齢者を対象にした講座を実施し、活動のきっかけづくり・生活の質の向上と生きがいに貢献します。</p> <p>・高齢者も参加しやすいように筆記通訳の導入などを行います。</p> <p>・高齢者も参加しやすいように筆記通訳の導入などを行います。</p>
--	---

【区制50周年の事業展開】

区民活動団体と連携・調整しながら区制50周年の関連事業を実施します。

【障害者就労施設等からの調達の実績】

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域振興課事業	自 680	自 1,021	△ 341	保育ボランティア養成講座終了に伴う減
区民活動支援センター事業	自 1,720	自 1,780	△ 60	
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	2,400	2,801	△ 401	
内 自主企画事業費	2,400	2,801	△ 401	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

事業開催時のアンケート等による

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民活動支援係
	馬淵 勝宏	福岡 英丈	福山 秀子

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	地域文化推進事業
-----	----------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	5	4

事業評価書番号	19
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	720					720
前年度	720					720
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算	1,200	1,200	1,200
決 算	1,087	1,266	1,130
予 算	1,200	1,200	1,200
決 算	1,087	1,266	1,130

歳出	32年度	33年度
予 算	720	720
決 算	720	720

方針に関する決裁 種別( )  
有( )件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要(目的)	港南区では文化活動に取り組む人や団体を支援し、地域文化が盛んとなるきっかけ作りをすることで、地域文化を推進します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ こうなん文化交流協会の役員や会員には高齢の方が多く、地域文化の担い手の高齢化が懸念されます。</li> <li>・ 地域で開催される文化活動に対しての広報での支援や公的な支援が期待されます。</li> <li>・ 区民の作品や活動内容が発表でき、展示できる場や機会が望まれています。</li> </ul>
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等 7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	港南区運営方針 施策2 1人ひとりが元気に暮らせるまちづくり
3 根拠法令・要綱等	こうなん文化交流協会補助金交付要綱

【実績の推移・今後見込み】	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度見込み	31年度見込み
文化交流協会会員数	1,531	1,256	1,165	1,126	1,099	1,062	1,134	1,050	1,000

【実施内容】

(1) 文化交流協会支援事業  
こうなん文化交流協会が行う、地域の文化活動を効果的に推進し、区民の文化振興及び地域社会の発展に寄与する事業に補助金を交付します。

(2) 港南中央がれりあ事業  
文化活動の発表の場の提供と、公共の場のうおい作りのため、管理運営委員会により港南中央がれりあ(平成18年10月より港南中央駅に設置してあるショーケース)での作品展示を行います。

(3) 文化行事支援事業  
区内活動団体が、区民を対象に公共的公益的に実施する文化行事等に対し後援を行い、主体的な文化活動の側面支援を行います。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】  
区内文化行事の広報支援等を行い、区民の文化活動参加を促し、文化を通じた居場所づくりや生きがいを支えます。

【区制50周年の事業展開】  
区内文化団体と連携・調整しながら区制50周年の関連事業を実施します。

【障害者就労施設等からの調達取組】

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
文化交流協会支援事業	600	600	0	
文化行事支援事業	120	120	0	
事業費合計	720	720	0	
内 自主企画事業費	0	0	0	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】  
平成29年度港南区区民意識調査集計結果

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長 馬淵 勝宏	係長 福岡 英文	区民活動支援係 長岡 かなえ
--------------------	-------------	-------------	-------------------

予算区分	文化・スポーツ・学習振興費	性質・課題区分	文化・スポーツ	事業開始年度	平成6年度
------	---------------	---------	---------	--------	-------

事業名	地域スポーツ応援事業
-----	------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	政策番号	主な施策番号
	7	2

事業評価書番号	20
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,150					2,150
前年度	2,350					2,350
増△減	△ 200	0	0	0	0	△ 200

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算	4,471	3,810	4,471
決 算	4,471	3,810	4,471
増△減	0	0	0

歳出	32年度	33年度
予 算	4,471	2,150
決 算	4,471	2,150

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付( 年 月 )  
無

事業の概要(目的)	一人ひとりが元気に暮らせるまちづくりを目指して地域での健康・仲間づくりを進めるため、誰もが楽しめるスポーツの普及を促進し、身近な地域で多世代が運動を楽しむための活動を支援します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化社会を迎え、個人における体力の維持向上や健康管理が大きな課題となっています。そのため、スポーツを通じた健康づくりに対する意識を高め、区民の健康維持・増進を図る必要があります。</li> <li>・地域スポーツ団体の事務局等運営人員も高齢化が進んでいます。今後も継続してスポーツイベントによるスポーツへの関心及び健康を意識する機会を区民に提供するため、事務局等の後継者を育成する必要があります。</li> <li>・地域の世代を超えた交流が希薄になっている中で、地域の一体感を醸成するための活動のひとつとして、スポーツを通じた地域住民の交流を図る必要があります。</li> </ul>
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	7 関係団体からの要望
-------------	------------	-------------

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 施策2「超高齢化社会の中でも一人ひとりが元気に暮らせるまちづくり」
-------------	---

3 根拠法令・要綱等	港南区スポーツ推進委員連絡協議会活動補助金交付要綱、港南区健康ランニング大会事業補助金交付要綱、港南区体育協会補助金交付要綱、横浜市スポーツ推進委員規則、スポーツ基本法
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

1. 港南区健康ランニング大会参加人数

年 度	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度見込
人 数	1087	1075	1121	1136	1130	1250	1130

2. こうなんファジーバレーボール大会参加人数

年 度	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度見込
人 数	233	328	311	282	256	300	300

3. スポーツ・エンジョイ・フェスティバル参加人数(港南区体育協会補助金)

年 度	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込	31年度見込
人 数	700	620	700	600	630	650	650

【実施内容】

- 小学生以上の区民を対象に、区民の健康・体力づくりや地域交流の場となることを目的として、野庭中学校周辺で本大会を実施するため、港南区健康ランニング大会実行委員会へ補助金を交付します。(1月)
  - 港南区スポーツ推進委員活動支援
    - こうなんファジーバレーボール大会補助金  
年齢や経験を問わず、区民が気軽に楽しむことができる本協議をより一層振興して区民の健康・体力づくりを行うため、競技大会の開催を支援します。(10月)(港南区スポーツ推進委員 事業部会として開催)
    - ラジオ体操普及活動補助金  
区民の健康づくり推進のため、ラジオ体操を地域に普及します。地域でのラジオ体操会の開催、各種イベントでのラジオ体操の指導をスポーツ推進委員全体で実施します。  
また、指導者育成のため、ラジオ体操指導者講習会への参加も促進します。(通年)
- 【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】  
健康づくりのために進んでいる各種事業に、より多くのかたに参加してもらえよう、様々な場で事業のPRを行います。

【区制50周年の事業展開】

区内各種スポーツ団体と連携、調整しながら区制50周年の関連事業を実施します。

【障害者就労施設等からの調達取組】

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
港南区健康ランニング大会補助金	自 1,500	自 1,700	△ 200	H31は記念大会を行わないこと
こうなんファジーバレーボール大会補助金	自 200	自 200	0	
ラジオ体操普及活動補助金	自 100	自 100	0	
港南区体育協会補助金	自 350	自 350	0	
			0	
			0	
事業費合計	2,150	2,350	△ 200	
内 自主企画事業費	2,150	2,350	△ 200	
内 訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

平成29年度港南区区民意識調査集計結果による

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	区民活動支援 係
	馬淵 勝弘	福岡 英文	東 美佑

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[ 港南 区 地域振興 課 ]

No.	21
-----	----

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	青少年健全育成	事業開始年度	平成18年度
------	----------------	---------	---------	--------	--------

事業名
青少年みらい応援事業

特記事項	
中期計画-38の政策	<input type="checkbox"/>
中期計画-行政運営	<input type="checkbox"/>
中期計画-財政運営	<input type="checkbox"/>
重点事業	<input type="checkbox"/>
新規・拡充	<input type="checkbox"/>
温暖化対策関連事業	<input type="checkbox"/>

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
29	1

事業評価書番号	21
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳			
		国・県	諸収入		一般財源
本年度	6,640	0	0		6,640
前年度	6,275	0	0		6,275
増△減	365	0	0	0	365

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算 事業費	7,420	7,160	7,590
メリット+一般財源	7,420	7,160	7,590
決 算 事業費	7,607	7,072	7,561
メリット+一般財源	7,607	7,072	7,561

歳出	32年度	33年度
予 算 事業費	6,640	6,640
一般財源	6,640	6,640

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名 ( )、目付 ( 年 月 )  
無

事業の概要 (目的)	子どもたちが地域で健やかに成長できるよう、地域で活動する団体等を支援するとともに、子どもたちが夢と希望を持って成長できるよう応援します。
------------	--

(説 明)			
1 地域の課題等	近年、青少年を取り巻く環境は、大きな変化を遂げています。人と人とのコミュニケーションを直接取ることが少なくなり、友達同士の会話も、画面の文字で行われることが多い状況です。地域の中で、子どもたちと大人とが接する機会を設け、声かけや見守りにつなげることが必要です。また、将来に不安が広がりがねない社会状況の中、子どもたちが夢や目標を持ち、いきいきと活動できるよう、支援していくことが求められています。		
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	港南区運営方針 「子ども・青少年が健やかに育つまちづくり」「地域の皆様と協働で進める地域づくり」		
3 根拠法令・要綱等	港南区青少年活動事業補助金交付要綱、港南区青少年文化スポーツ活動区長表彰要綱、こうなん子どもゆめワールド補助金交付要綱		

【実績の推移・今後見込み】

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込み
ゆめワールド出店団体	65	63	64	65	65
ゆめワールド出演団体	21	20	17	26	22
ミュージックフェスタ出演団体	16	16	12	12	12

【実施内容】

1 青少年の健全育成

(1) 健全育成活動の支援

- ・子どもたちが、異世代交流や体験活動を通じて社会性や自主性を養うことを目的とした地域の団体の事業に補助金を交付します。
- ・区内で活動する子ども会連絡協議会及び港南中央公園生き生きプレイパーク管理運営委員会が実施する事業に補助金を交付します。

(2) 講演会の開催

子どもたちに、自らの夢や目標を持ち、それに向かって努力することの大切さを伝え、将来について考えるきっかけとなるような講演会を開催します。

(3) 多文化共生日本語支援

区内の小中学校に在籍する日本語を母語としない子どもたちが、日常生活に適応できるよう、翻訳支援等を行い、多文化共生のまちづくりを進めます。

2 青少年の活動支援

- (1) 港南区青少年文化スポーツ活動区長表彰  
部活動などの文化、スポーツ活動において、区民を勇気づけるような優秀な活動を行った区内の青少年を表彰します。
- (2) ひまわりミュージックフェスタの開催  
子どもたちが夢と希望を持ち、仲間との交流を通して互いに認め合う心を育むことを目的として、港南区内の小中学生の合唱やダンスや等の発表会の場を提供します。  
今年度は区制50周年記念事業とし、ひまわり管弦楽団と区内小学生による音楽会を開催します。

3 子ども向けイベント事業

- (1) こうなん子どもゆめワールド  
次代を担う子どもたちが地域社会や世界に目を向け、幅広い視野や自主性・創造性を育み、健やかに成長できるよう、地域における異世代交流や国際交流の場を提供し、青少年の健全育成推進を図ることを目的として「こうなん子どもゆめワールド」を開催する、こうなん子どもゆめワールド実行委員会に補助金を交付します。
- (2) ひまわりフェスタのPR  
こうなん子どもゆめワールド会場周辺で同日に開催されるイベント（総称：ひまわりフェスタ）に一体感を持たせるため、スタンプラリーを実施するなど、ひまわりフェスタをPRします。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

青少年健全育成を推進する会が推進する「港南ひまわり83運動」は、地域全体で子どもを見守る環境づくりを行うものです。地域、学校と連携して取り組みを進めます。

【区制50周年の事業展開】

各事業において、区民広報を行う際には、併せて50周年のロゴマークを掲載するほか、こうなん子どもゆめワールド会場において、のぼり旗の掲出するなど、周知と盛り上げを図ります。  
ひまわりミュージックフェスタは、50周年記念事業と連携した形で開催します。

【障害者就労施設等からの調達取組】

日野中央高等特別支援学校に、区長表彰の記念品として賞状楯を作成してもらいます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 青少年の健全育成	自 1,810	重 420	1,390	
2 青少年の活動支援	自 1,430	重 2,460	△ 1,030	
3 子ども向けイベント事業	自 3,400	重 2,200	1,200	
青少年健全育成事業	0	重 1,195	△ 1,195	
			0	
			0	
事業費合計	6,640	6,275	365	
内 自主企画事業費	6,640	6,275	365	
訳 重点事業	0	6,275	△ 6,275	

【根拠とするデータ等】

港南区民意調査・非行少年の種類別検査補導人員（神奈川県警察本部生活安全部少年育成課）

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	青少年育成担当
	馬淵 勝宏	朝倉 恭史	川上・山口・浅井

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成26年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	「切れ目のない」子育て支援事業
-----	-----------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
24	5

事業評価書番号	23
事業評価書番号	25

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	910					910
前年度	910					910
増△減	0	0	0	0	0	0

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算	350	350	350
決 算	350	350	350
予 算	349	350	350
決 算	349	350	350

歳出	32年度	33年度
予 算	910	910
決 算	910	910

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名 ( )、日付 ( 年 月 )  
(無)

事業の概要 (目的)	未就学児童の保護者に対して、保育園や幼稚園の情報を提供します。また、子どもの就学後も、働きやひとり親世帯の保護者が安心して仕事と子育ての両立ができるよう、子どもの放課後の居場所(預け先)に関する情報提供や、相談機会の充実等の支援を実施します。
------------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>保育所や幼稚園を利用したい保護者に、区内施設の情報をわかりやすく提供することが求められています。また保護者が、子どもの小学校入学後も安心して仕事と子育ての両立ができるよう、放課後の居場所(預け先)に関する情報や相談機会を、適切な時期に提供することが求められています。保護者や子どもが保育所等から放課後の居場所へ円滑に移行できるよう、関係機関の連携が求められています。</p>
----------	--

地域の課題等の収集手段	6 区民要望
-------------	--------

2 運営方針等との関係	「施策3 子ども・青少年が健やかに育ちまづくり」
-------------	--------------------------

3 根拠法令・要綱等	子ども・子育て支援法、児童福祉法、横浜市放課後キッズクラブ事業実施要綱、横浜市放課後児童クラブ事業実施要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】					
	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み	32年度見込み	33年度見込み
放課後の居場所相談実施校数	21	21	21	21	21
港南区放課後まっぷ発行部数	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000

- 【実施内容】
- ①小学校就学時健康診断会場における放課後の居場所相談の実施  
小学校で実施する就学時健康診断の会場において、保護者が放課後の居場所について相談できるよう、放課後キッズクラブや放課後児童クラブ等のスタッフによる放課後の居場所相談を区内全小学校21校で実施します。
  - ②学齢期の子育て支援  
育てにくさを感じる子ども等に関して、保護者や子どもにかかわる方が、専門的な相談・アドバイスを受けられるよう、「子ども・家庭支援相談」の有効活用を進め、見守り支えあいによる支援の充実を図ります。
  - ③「港南区放課後まっぷ」の発行、配布  
放課後の居場所に関する情報をより多くの方が適切な時期に得られるよう、港南区放課後まっぷを発行、配布します。
  - ④区内の保育所一覧、幼稚園一覧の作成、配布  
保育・教育施設の入園申込書類に同封する区内保育施設一覧を作成します。また、待機児童対策のために、幼稚園の案内を強化する目的で区内幼稚園一覧を作成します。
- 【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】
- ・放課後施設利用の子どもに向けた防災の啓発  
保護者や子どもの防災意識向上促進のため、区役所備蓄食料や防災ガイドを活用した取組を放課後の居場所のイベントで実施します。(区総務課と連携)
- 【区制50周年の事業展開】
- ・区民への配布物(放課後まっぷ、保育所一覧、幼稚園一覧)に50周年記念のロゴを掲載して周知します。

【障害者就労施設等からの調達取組】

- ・各種印刷物の発行や、発送作業の調達について検討します。
- ・障害者就労施設等で製造しているお菓子を、放課後の居場所のおやつなどに活用できないか、区より放課後の居場所へ働きかけます。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
「切れ目のない」子育て支援事業	自 910	自 910	0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	910	910	0	
内 自主企画事業費	910	910	0	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

保育所待機児童数・保留児童数、就学前児童数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	係
	野澤 裕美	渡辺 三由紀 高橋 耕次郎	

No.	23
-----	----

予算区分	子育て・子ども・青少年育成費	性質・課題区分	子育て支援	事業開始年度	平成17年度
------	----------------	---------	-------	--------	--------

事業名	地域で子育て応援事業
-----	------------

特記事項	○
中期計画-38の政策	
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
23	4
30	4

事業評価書番号	24
事業評価書番号	25
事業評価書番号	26

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	7,608		55			7,553
前年度	7,500		73			7,427
増△減	108	0	△ 18	0	0	126

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算	10,995	10,770	9,938
決 算	10,892	10,683	9,865
予 算	10,701	10,656	9,256
決 算	10,623	10,588	9,202

歳出	32年度	33年度
予 算	7,608	7,608
決 算	7,553	7,553

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月日)  
無

事業の概要(目的)	安心して子育てができるよう、子育ての居場所機能の充実、保育園等と連携した事業、育てにくさを感じる子育てについての相談・啓発事業、地域の0歳児赤ちゃん教室、ランチ交流や絵本の貸出事業を展開していきます。また、DVや虐待等困難な問題を抱える家庭の支援をします。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化が進み、身近に子育てを支援してくれる家族等が少ない中、育児不安を抱えたり、孤立化してしまう親子が増加しています。地域での子育て支援として、子どもを連れて出かけられる場があることは重要です。保育園・幼稚園への就園年齢が早まる傾向にあることから、支援の対象が0歳から2歳の時期が中心となってきています。</li> <li>・知的な遅れは少ないが、こだわりが強い・衝動的・理解の幅が狭い等、発達に課題がある子どもは、養育者でもその特徴を理解することは容易ではありません。その結果、養育者の支援ニーズがないまま就園・就学をむかえ、保育園・幼稚園・小学校から相談を受けるケースも少なくありません。また、このような子どもは健常な子どもより虐待を受けるリスクが高く、養育者の不適切な対応によっては、不登校・引きこもり・反社会的行動など二次的障害を起こすことが懸念されます。</li> <li>・相談者の社会的背景が多様化し、DV等の相談内容が複雑化しています。DV・離婚等の問題には法律に基づく専門的な対応が求められ、身の安全のためにも、早急に弁護士への相談を必要とするケースも多くなります。</li> <li>・核家族化の進行や、地域社会における人間関係の希薄化等により、孤立した育児に陥りやすくなっています。赤ちゃん教室では、養育者同士・地域役員・子育て支援者等が交流の機会を得ることができるため、地域社会での関係づくりにつながっています。</li> <li>・保育園への育児相談の中では、乳幼児の食事に関するものが多く保育園での給食(プチ体験)による食育の場を設けます。</li> <li>・社会環境の変化や生活様式の変化から、現代の幼児は体を動かして遊ぶ機会が減少しています。「走る」、「跳ぶ」、「投げる」といった、基本的な運動能力の低下など、子どもの心身の発達に大きな影響を及ぼすことが指摘されている中で、運動(遊び)を通して、幼児期に必要な多様な動きを身につけるとともに、園児の事故防止につながることが求められています。</li> <li>・養育者への育児支援において、保育園の相談機関としての役割は増しており、保育園での養育者の育児相談の機会が増が望まれます。</li> <li>・地域ケアプラザや子育てサークルなどに保育士を派遣することなどにより、地域での子育て支援を進めていく必要があります。</li> </ul>
----------	---

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口応対等	6 区民要望
-------------	------------	--------

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 施策3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり
-------------	---------------------------------

3 根拠法令・要綱等	子ども・子育て支援事業計画、子ども子育て支援法、養育ネットワーク事業実施要項、港南区保育園プチ体験事業実施要綱
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

①エリア別子育て支援事業

	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み
子育ての居場所(延べ人数)	3356人(2か所)	3500人(2か所)	1800人(1か所)	1800人(1か所)

④育てにくさを感じる子育て支援事業

	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み
発達障害に関する講演会	2回実施	1回実施	1回実施	1回実施予定
園庭開放	5園実施	4園実施	4園実施	3園実施
市民相談スキルアップ研修	1回実施	1回実施	1回実施予定	1回実施予定

⑤こども家庭相談事業

	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み
DV等弁護士相談	12件	15件	24件	30件

⑥0歳児赤ちゃん教室事業

	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み
赤ちゃん教室(延べ人数)	5811人	5112人	5633人	4875人	4429人	4500人	4500人

⑦保育魅力アップ事業

	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み
プチ体験	317人	258人	243人	216人	173人	180人	176人
貸出絵本	—	—	—	1604冊	1445冊	1500冊	1340冊

【実施内容】

- ①エリア別子育て支援事業
  - ・子育ての居場所は地域の特性・ニーズに合わせて運営します。
- ②子育て当事者支援事業
  - ・子育てサークル活動への支援を実施します。
- ④育てにくさを感じる子育て支援事業
  - ・発達障害に関する講演会を年1回実施します。
  - ・園庭開放見守りを市立保育園3園で実施します。
  - ・パーソナル障害等、課題を抱える養育者への対応・理解を深めるために、医師等専門職より職員研修を実施します。
  - ・やってみようペアレントトレーニング講演会・講座(ペアトレ)として、育児ストレスが高い保護者向けの講演会を実施し、さらに適切な親子関係の構築を促す講座を実施します。
- ⑤こども家庭相談事業
  - ・DVや離婚に詳しい弁護士の専門相談を月1回実施します。
- ⑥0歳児赤ちゃん教室事業
  - ・第1子の0歳児とその養育者・妊婦を対象に、区内15会場(町内会館等)×概ね年11回実施します。
- ⑦保育魅力アップ事業
  - ・市立保育園全園で地域の親子を対象に、給食体験や遊び等を行うプチ体験を実施します。
  - ・地域の親子等へ絵本の貸出を市立保育園全園で実施します。
  - ・地域ケアプラザとの合同保育への講師派遣等、必要な支援や地域住民の保育園での協働事業への支援を実施します。
  - ・3か年計画で実施してきた訪問指導は、今年度最終年度となるため効果検証を行うための体力測定を市立保育園全園で実施します。また、区内保育・教育施設の保育士向けに公開保育も実施します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

- ・園庭開放や公園遊び等を通じて、外遊びや運動の大切さを養育者に実感してもらいます。
- ・赤ちゃん教室において、歯科衛生士や栄養士等の講師による講話を行うことで、健康への意識啓発を促します。
- ・災害時の対応ブックを乳幼児健診や保育園等で配布することで、子育て世代向けの防災啓発に取り組みます。

【区制50周年の事業展開】

- ・「港南区子育てガイドブック」の作成【新規】
- ・子育て中の親と地域子育て支援拠点を中心となって、育児支援に役立つ情報を調査・取材し、地域で安心して子育てができるエリア別情報提供のための冊子を作成します。

【障害者就労施設等からの調達取組】

- ・各種物品の調達について検討します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
①エリア別子育て支援事業	自 3,219	自 2,519	700	子育て情報誌発行等による増
②子育て当事者支援事業	自 152	自 152	0	
③安全性確保のための一時託児・傷害保険	自 0	自 42	△ 42	エリア別子育て事業への転換による減
④育てにくさを感じる子育て支援事業	自 1,285	自 1,415	△ 130	民間移管による減
⑤こども家庭相談事業	自 360	自 430	△ 70	区配予算への転換による減
⑥0歳児赤ちゃん教室事業	自 1,093	自 1,081	12	実績による増
⑦保育魅力アップ事業	自 1,499	自 1,861	△ 362	区配予算への転換による廃止
事業費合計	7,608	7,500	108	
内 自主企画事業費	7,608	7,500	108	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

- ・法律相談予約簿
- ・各講演会等参加受付簿
- ・健診、教室等受付簿
- ・母子手帳交付数

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	こども家庭係 高昌 暢子
	米岡 由美恵	森野 潤子 古林 直樹	

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成18年度
------	-----------	---------	-------------	--------	--------

事業名	地域福祉保健活動推進事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
14	1

事業評価書番号	28
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	4,445					4,445
前年度	3,063					3,063
増△減	1,382	0	0	0	0	1,382

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算	6,405	3,327	3,758
決 算	6,405	3,327	3,758
予 算	6,450	3,140	3,100
決 算	6,450	3,140	3,100

歳出	32年度	33年度
予 算	4,445	4,445
決 算	4,445	4,445

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	第3期港南区地域福祉保健計画を推進及び第4期計画策定に向けて、関係機関・団体との連携を進め、地域の見守り活動・支え合い活動の充実を図ります。また、平時から医師会等と連携し、災害時における医療体制の充実を図ります。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>第3期港南ひまわりプラン地区別計画推進のため、自治会・町内会、地区社会福祉協議会をはじめ、各活動団体が一体となって福祉保健活動に取り組めるよう、支援していく必要があります。</p> <p>区計画については、平成30年度の間中期振り返りを実施し、4・5年目の推進に向け各課連携し取り組む必要があります。</p> <p>第4期港南ひまわりプランの策定に向け、第3期計画の内容などを踏まえ区役所・区社会福祉協議会・地域ケアプラザが一体となって各地区と連携して取り組んでいく必要があります。</p> <p>高齢者・子ども・障害児・者等に対する見守り活動の推進のため、事業者等も含め地域で支え合うシステムの充実が必要です。</p> <p>平時から区内の関係機関と災害医療に関する意見交換や情報共有を行う必要があります。区役所も災害時に円滑な活動ができるよう、職員への啓発及び資器材の充実を図り、区の実情に応じた災害時の医療体制を構築する必要があります。</p>
----------	--

地域の課題等の収集手段	3 地区担当制度	4 地区懇談会	7 関係団体からの要望	1 日常の窓口対応等
-------------	----------	---------	-------------	------------

2 運営方針等との関係	地域の皆さまと協働で進める地域づくり
-------------	--------------------

3 根拠法令・要綱等	社会福祉法、横浜市市民協働条例、横浜市地域ケアプラザ条例、同施行規則、同事業実施要綱、港南区地域福祉保健計画、ボランティアフェスティバル等補助金交付要綱、港南区障害児・者ふれあいスポーツ大会補助金交付要綱、港南区港南ひまわりプラン応援補助金交付要綱
------------	--

【実績の推移・今後見込み】	<p>1 港南ひまわりプランの推進</p> <p>(1) 地域福祉保健推進協議会の開催 28年度：2回、29年度：3回、30年度：3回</p> <p>(2) 第3期地域福祉保健計画策定・推進プロジェクトの実施</p> <p>(3) 港南ひまわりプラン推進に関する研修・交流の実施 (しゃべっチャオ 28年度2回開催、29年度1回開催、30年度9/30開催) (地域支援チームオリエンテーション：28年度：1回、29年度：1回、30年度：1回) (地域支援チーム研修 28年度：2回、29年度：1回、30年度：1回)</p> <p>(4) 広報活動 26年度：地福ニュース発行(3回)、27年度：地福ニュース発行(3回)、30年度：見守り事業所紹介発行(2回)</p> <p>(5) 港南ひまわりプラン応援補助金交付 28年度：22団体、29年度：17団体、30年度：10団体(新規1団体、継続9団体)</p> <p>(6) ボランティアフェスティバルへの助成 28年度：29年度：11/12開催 50団体(約800人)参加、30年度：11/18開催 50団体(約800人)参加</p> <p>(7) ふれあいスポーツ交流会への助成 28年度：29年度：10/15開催 約360人参加、30年度：10/14開催 約380人参加</p> <p>2 地域ケアプラザ運営推進 28年度：ケアプラザ紹介冊子の改定・増刷、30年度：日限山地域ケアプラザの指定管理者の再選定</p> <p>3 災害医療対策</p> <p>(1) 災害医療連絡会議の開催 29年度3回開催、30年度3回開催</p> <p>(2) 災害医療合同訓練の実施 29年度10/21実施、30年度10/20実施</p> <p>(3) 災害拠点病院など関係機関とのMCA無線等による通信訓練を実施 29年度5回、30年度9回</p>
---------------	--

【実施内容】

1 地域福祉保健計画の推進【2,445千円】

(1) 地域福祉保健推進協議会の開催：2回

対象者：福祉・保健・医療関係者

内 容：区福祉保健センター事業や地福計画推進等に関する意見交換

30年度中間期に実施した区計画、地区別計画の振り返りをもとに、4期計画策定に向け情報提供、情報共有、計画の内容について協議する。

(2) 港南ひまわりプランの推進

対象者：イベント参加者（意見募集）

一般区民、地域の活動者、プラン策定および推進に携わった方（しゃべっCiao）

内 容：他課と連携したプランの推進

・イベント等の機会での「区民の思い」意見募集実施

・“しゃべっCiao”の開催 年1回

・各種団体へのヒアリング（「当事者の思い」「活動者の思い」を集める）

(3) 地域福祉保健計画推進に関する研修・交流：通年

地域支援チーム研修：1回

目 的：港南ひまわりプランの推進を担う関係機関等と連携強化を図り、必要な知識や手法を取得する。

内 容：3期の中間振り返りを受け、4期策定に向けて、必要と判断される情報・知識を盛り込んだ研修を行う。

(4) 見守り・支え合い

見守り協力事業者の取組を地域ケアプラザと連携して進めていく。

見守り協力事業者向けの通信を年2回発行する。発行にあたっては、他課の取組とも関わりをもたせながら内容を検討・作成する。

(5) 港南ひまわりプラン応援補助金

区計画の分野別テーマに沿った取組を行う団体に対して補助金を交付する。

31年度は、検討会における評価で基準点を上回る団体に対して事業補助を行うなど、前年度と同様の補助制度とする。

(6) ボランティアフェスティバルへの助成（港南区社会福祉協議会）

活動の紹介や体験を通して、ボランティアを始めるきっかけの場となるよう助成を行う。

(7) ふれあいスポーツ交流会への助成（港南区障害者団体連絡会）

障害児者同士の交流に加えて、地域とのつながり作りも視野に入れながら関わり助成を行う。

2 地域ケアプラザ運営推進費【530千円】

31年度は、地域ケアプラザ（7施設）の指定管理者の再選定を行う。

(1) 地域ケアプラザの円滑な運営を支援するための連絡調整事務費

(2) 地域ケアプラザ紹介冊子の印刷

28年度作成の地域ケアプラザ紹介冊子の更新が必要なため、新たな紹介冊子を作成する。

3 災害医療対策費【1,470千円】

(1) 災害医療連絡会議の開催：3回

区内の医療関係団体、災害拠点病院等との連携強化を図るため、平時から災害医療に関する意見交換や情報共有等を行う。

(2) 災害医療体制の充実

- ・港南区の災害医療体制に応じた訓練の実施する。
- ・災害医療の提供に必要な知識を習得するための研修を行う。
- ・災害時に必要な資器材の充実を図る。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

- ・区内の医療関係団体、災害拠点病院等との連携強化を図るため、平時から災害医療に関する意見交換や情報共有等を行うとともに、災害医療に関する訓練や研修を行う。
- ・区内の事業者にも緩やかな見守りに協力いただき、ちょっとした変化に気づいた際には地域ケアプラザなどに相談するなど、港南区の見守り・支えあいを進めていく。
- ・ひまわりプラン分野別4テーマの1つ「健康づくり」の推進をひまわりプラン応援補助金などを活用するとともに、各課連携した取り組みが進むように調整役を担う。

【区制50周年の事業展開】

- ・各地域ケアプラザでのイベント時に50周年のPRを行うなど、ケアプラザと連携して取り組んでいく。

【障害者就労施設等からの調達の取組】

- ・啓発グッズ等の作成委託

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
1 地域福祉保健計画の推	2,445	2,525	△ 80	地域福祉保健推進協議会開催ほか
			0	
2 地域ケアプラザ運営推	530	100	430	地域ケアプラザ連絡調整
			0	
3 災害医療対策費	1,470	438	1,032	災害医療連絡会議ほか
			0	
事業費合計	4,445	3,063	1,382	
内 自主企画事業費	0	0	0	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

第3期横浜市地域福祉保健計画 中間評価結果、平成29年度 地域ケアプラザ事業実績評価、港南区区民意識調査（29年度）、データブック港南、わが町港南 等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	事業企画 係
	畑岸 真哉	高林 悠紀	川口 大輔

(様式3-1) 平成31年度事業計画書【自主企画事業費】

[ 港南区 福祉保健課 ]

No. 25

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	健康づくり	事業開始年度	平成19年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名
健康アクションこうなん5推進事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	○
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	1, 2, 3, 4

事業評価書番号	28
事業評価書番号	29

(単位:千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	6,968					6,968
前年度	5,340					5,340
増△減	1,628	0	0	0	0	1,628

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	4,075	4,520	5,319	予算	事業費	6,968	6,968
	メリット+一般財源	4,075	4,520	5,319		一般財源	6,968	6,968
決算	事業費	3,616	3,166	4,825	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付(年月) (無)			
	メリット+一般財源	3,616	3,166	4,825				

事業の概要(目的)	持続可能な社会をつくるため、健康寿命の延伸を目指します。そのためには、生活習慣病予防を推進し、同時に「がん」及び「特定健診」の普及啓発を実施するなど、健康づくりの合言葉「健康アクションこうなん5」に基づき取り組みます。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<p>●持続可能な社会づくりのためには、誰もが健康であり続けることが求められ、各世代で生活習慣病予防を推進する必要があります。特に日々の忙しさから食生活等が乱れがちになる働き・子育て世代は、運動する機会も少ない状況にあるため、重点的に生活習慣の改善を啓発していく必要があります。</p> <p>●区民意識調査では、過去2年間がん検診を受けていないと答えた人は、55%でした。検診の内容や費用などを啓発・理解してもらい、がんの早期発見・早期治療につなげることが、がん対策を進めるうえで必要です。</p> <p>●特に働き世代は、健康づくりに関心が薄い傾向にあり、生活習慣の改善がなかなか進みません。企業にとっても、従業員が健康であることは重要であることから、企業と一緒に健康経営の取組を進めます。</p>
----------	---

地域の課題等の収集手段	5 区民アンケート	1 日常の窓口対応等	6 区民要望
-------------	-----------	------------	--------

2 運営方針等との関係	施策3 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	地域保健法、高齢者の医療の確保に関する法律、健康増進法、がん対策基本法、横浜市がん撲滅対策推進条例、健康横浜21(第2期)
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度見込み	平成31年度見込み
出前講座(実施回数)	64回	80回	77回	70回	70回
ひまわり健康手帳配布数(がん検診手帳)	1,000冊	1,300冊	1,300冊	1,300冊	1,300冊
中学生の食育講座	8校/1,135人	7校/1,117人	5校/1,147人	7校/1,000人	7校/1,000人
区内横浜健康経営認証事業所数	—	1事業所	5事業所	20事業所	50事業所

【実施内容】

1 重点取組

(1) 働き子育て世代の健康づくり

①母子の健康づくり

子育て中の母親を対象に、骨密度測定や栄養指導、口腔ケアなどを実施し、つい後回しになりそうな母親の健康づくりを支援するほか、3歳児健診時にも保護者に対して、がん予防啓発や生活習慣病の予防啓発を実施します。

②「健康経営」の推進

区内企業と一緒に従業員の健康づくりを行います。

・出前講座・健康相談により、企業の実情に即した従業員の健康づくりを提案していきます。合わせて「健康経営」の考え方を周知し、認証取得を働きかけます。

・認証取得した区内企業と連携しながら健康経営認証制度を区との関係が深い事業者等に向けてPRし、区内企業の認証を働きかけを行うとともに、健康づくりをより効果的に進めるため、ネットワークづくりを行います。

**(2) 障害者の健康づくり**

わかりやすいリーフレット等を利用し、区内作業所を利用して障がい者の方を対象に食育を実施します。そのほかに、作業所と連携して、野菜パンづくりを通し、「たべよう！野菜」の啓発を行います。

**(3) がん検診の受診促進**

28年度の市民意識調査では、区内女性の肺がん検診受診率は21.6%、大腸がん検診受診率は27.1%と低いことから、女性の受診率を向上させるために、肺がん検診時に女性が受診しやすくし、大腸がん検診について啓発を強化します。さらに、医師会へ働きかけ、がん検診向上のための検討会を開催します。

また、区内小学6年生を対象に、喫煙防止教室を年に約4校実施していますが、全6年生にリーフレットを配布し、喫煙防止の大切さを伝えます。

**(4) 区内企業・ヘルスマイト等と連携した啓発**

①健康アクションこうなん5の啓発

区民がよく利用する場（スーパーマーケット等）で区内関係団体や地元企業と協働して健康づくりやがん検診の啓発、情報提供を行い、日頃、福祉保健センターと関わりの少ない若い世代を含めた幅広い世代に対して健康づくりの啓発を図ります。

②出前講座・健康相談

・地域の団体や小中学校、地域ケアプラザ、地区センター等に働きかけ、生活習慣病予防や生活習慣病の重症化予防に努めます。

・地域の関係団体やボランティア等と健康づくりの普及啓発を実施しながら、活動が定着するよう支援します。

・保健師、栄養士、歯科衛生士が個別の相談に対応し、適切に指導を行います。

**2 健康アクションこうなん5の推進**

**「あるこう！毎日」推進事業**

ウォーキングが健康維持にとって有効であることや、効果的な運動方法などの講義・実技を行い、区民の意識や意欲を高めます。また、ウォーキングマップを改定し、幅広い年代の区民に向けて啓発を行います。

また、食生活等改善推進員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員等が連携し、それぞれを所管する各課と連携しながら、区民がウォーキングを通して交流を行うことを目的としたウォーキングイベントを開催します。

◎港南ふれあいウォーキング開催

**「たべよう！野菜」推進事業**

朝食の欠食率が高くなる中学生を対象に、食の大切さを伝え、望ましい食習慣の形成を促す支援を行います。また離乳食期の子どもへの保護者を対象とした食の啓発のほか、障害者の食の健康についても取り組んでいきます。

◎中学生の食育講座 ◎離乳食スタートごっくん教室 ◎障がい者への食育取組 ◎やさいたっぷりパンの販売支援

**「まもろう！歯」推進事業**

14か月以下の子どもの保護者を対象に、歯科衛生士や栄養士による講話、歯磨き実習等を行い、親子そろって一生自分の歯で食べ、健康に過ごすための基礎となる健康な口腔ケアを支援します。

◎親子の歯の健康教室

**「やすもう！しっかり」推進事業**

自殺対策事業や心の健康づくり事業として、高齢・障害支援課と連携し、働き・子育て世代を対象に、職域への働きかけを行います。

◎出前講座等

**「がん対策と健康診断」推進事業**

活動団体を中心にがん予防啓発や健康づくりに関する人材育成を実施し、協働で啓発活動を行うとともに、講演会の実施、小学校での喫煙防止啓発、地域でのイベント開催、及びがん検診を受けやすくするなど、区民のがん予防啓発とがん検診の受診率の向上を図ります。

◎がん講演会の開催 ◎小学校でのリーフレット等の喫煙防止啓発 ◎肺がん検診時の保育支援 ◎がん検診向上検討会

**【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】**

港南区食生活等改善推進委員会の活動を支援し、防災時の食など防災時の健康について周知します。

**【区制50周年の事業展開】**

ひまわり健康フェアなど大きなイベント時に健康に関する50年の歩みをわかりやすくパネルで示すほか、ヘルスマイトも50周年を機に活動を行うことから、協力団体とも連携して啓発していきます。

**【障害者就労施設等からの調達取組】**

啓発物の作成委託

**【事業費の内訳】**

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
「あるこう！毎日」推進事業	重 1,982	重 1,313	669	
「たべよう！野菜」推進事業	重 496	重 496	0	
「まもろう！歯」推進事業	重 438	重 426	12	
「がん対策と健康診断」推進事業	重 1,124	重 1,165	△ 41	
「やすもう！しっかり」推進事業	重 24	重 24	0	
働き・子育て世代の健康づくり	重 2,334	重 1,601	733	啓発物品作成増
出前講座・健康相談	重 145	重 228	△ 83	
区内企業との健康づくり啓発協働事業	重 425	重 87	338	
事業費合計	6,968	5,340	1,628	
内 自主企画事業費	6,968	5,340	1,628	
訳 重点事業	6,968	5,340	1,628	

**【根拠とするデータ等】**

港南区区民意識調査（H29）、健康に関する市民意識調査（H28）

本資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	健康づくり係
	畑岸 眞哉	駒形 俊文	五十嵐 修

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者 障害児・者 その他福祉・保健・衛生	事業開始年度	平成24年度
------	-------------------------------------	---------	-----------------------------	--------	--------

事業名
災害時も地域で見守り推進事業

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
35	6

事業評価書番号	29
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,250					1,250
前年度	1,000					1,000
増△減	250	0	0	0	0	250

歳出		27年度	28年度	29年度
予算	事業費	1,000	1,000	1,000
決算	メリット+一般財源	1,000	1,000	1,000
決算	事業費	999	1,254	1,074
決算	メリット+一般財源	999	1,254	1,074

歳出		32年度	33年度
予算	事業費	1,000	1,000
決算	一般財源	1,000	1,000

方針に関する決裁 種別( )  
 有( ) 無( )  
 有( ) 無( )  
 有( ) 無( )

事業の概要(目的)	いざというときに地域での要援護者への支援が円滑に進められるようパンフレット等を活用した啓発活動の実施や、要援護者の受入訓練の拡充を図り、災害に強いまちづくりを推進します。
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	東日本大震災や熊本地震を契機に、いざというときに地域での支えあいの中で要援護者への支援が円滑に行われるような対策が求められます。「平成29年度区民意識調査」では約9割の方が災害時、要援護者に対してなんらかの形で協力ができると回答しています。こうした声を活かし、災害に備えた日々の見守り・支えあいをさらに進めるため、パンフレット等を活用し、要援護者に対する理解と取組の実施を働きかける必要があります。
----------	---

地域の課題等の収集手段	4 地区懇談会	7 関係団体からの要望		
-------------	---------	-------------	--	--

2 運営方針等との関係	H30区運営方針 施策1 安心・安全のまちづくり
-------------	--------------------------

3 根拠法令・要綱等	災害対策基本法、横浜市震災対策条例、横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例、横浜市防災計画、港南区地域福祉保健計画
------------	---

【実績の推移・今後見込み】

- ・障害者団体等と協働で、具体的な支援策を検討するプロジェクト（プロジェクトR）を26年度発足。27年～30年度継続開催。
- ・災害時の要援護者支援啓発パンフレット（障がい者編）の作成（28年3月）
- ・災害時の要援護者支援啓発パンフレット（障がい者編）の音声版を作成し、全視覚障害者に配布（28年11月）
- ・災害時の要援護者支援啓発パンフレット（支援者編）の作成（29年3月）
- ・災害時の要援護者支援啓発パンフレット（風水害編）の作成（30年3月）
- ・防災講演会での手話・筆記通訳の実施（30年5月）

【実施内容】

- ・プロジェクトRで検討、作成したパンフレットを活用し、要援護者当事者や支援者に対し、自助・共助の取組の普及啓発を行います。
- ・要援護者の訓練参加促進等に取り組む拠点・施設の拡充を図ります。
- ・防災講演会への要援護者当事者の参加を促すため、手話及び筆記通訳を実施します。
- ・災害時に区と福祉避難所とが連携して、福祉避難所の運営が円滑に行えることなどを目的として、区と福祉避難所との連絡会、連携した訓練等を実施します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

当事業の取組は「防災・減災」及び「見守り・支えあい」を進めるものであり、当事業の成果を関係課及び関係団体に情報共有します。

【区制50周年の事業展開】

-

【障害者就労施設等からの調達の取組】

-

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
災害時要援護者への支援対策	自 1,250	自 1,000	250	パンフレット印刷、謝金等
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
事業費合計	1,250	1,000	250	
内訳				
自主企画事業費	1,250	1,000	250	
重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

港南区区民意識調査 (H29)

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	運営企画係
	畑岸 眞哉	武井 陽子	高山 千春

予算区分	地域福祉保健推進費 地域福祉保健推進費	性質・課題区分	その他福祉・保健・衛生 動物愛護・適正飼育	事業開始年度	平成15年度
------	------------------------	---------	--------------------------	--------	--------

事業名	安全で快適な生活推進事業
-----	--------------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
15	4

事業評価書番号	31
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	1,647	0	0			1,647
前年度	1,360	0	0			1,360
増△減	287	0	0	0	0	287

歳出		27年度	28年度	29年度
予算	事業費	900	1,225	1,283
決算	メリット+一般財源	900	1,225	1,283
決算	事業費	755	1,160	1,080
決算	メリット+一般財源	755	1,160	1,080

歳出		32年度	33年度
予算	事業費	1,497	1,497
決算	一般財源	1,497	1,497

方針に関する決裁 種別( )  
有:件名( )、日付(年月)  
無

事業の概要(目的)	区民が安全で快適な生活を送れるよう、生活環境に起因する課題(食の安全・動物の適正飼育・ハチ対策等)の解決に向けた支援を行います。
-----------	--

(説明)

1 地域の課題等	<p>1 食の安全推進事業 毎年、ノロウイルス等の食中毒や食品への異物混入などは全国各地で発生し、港南区でも例外ではありません。食に関する問題の多くは、消費者や食品関連事業者が適切な食品の取扱いを十分理解していない又は実践していないことも要因となっています。区民の生命と健康を支える食品の安全を確保するため、必要な情報を区民に分かりやすく伝えていくことが課題となっています。</p> <p>2 動物の適正な飼育啓発事業 区内には、約10,000頭(登録上)の犬が飼育され、猫もほぼ同数が生息すると推定されています。家族の一員として大切に飼育する区民がいる一方で、動物の鳴き声やふん尿などで地域のトラブルになるケースも多く見られます。人と動物が快適に暮らしていけるよう、飼い主等に対して、飼育している動物の習性・生理をよく理解していただき、マナーの向上を図ります。</p> <p>3 災害時のペット同行避難支援事業 東日本大震災や熊本地震を経て、災害時のペット同行避難について関心が高まっています。しかし、一般的に、災害に備えた飼い主の準備が十分でないことなどから、地域によっては同行避難に理解や協力を得られていない状況もあります。発災時に地域防災拠点での動物を巡るトラブルを軽減するため、拠点訓練等の機会をとらえ飼い主及び地域に向けた啓発を進める必要があります。</p> <p>4 ハチ対策事業 初夏から秋にかけて、ハチに関する相談が多く寄せられます。スズメバチの巣を除去する場合は、原則、敷地所有者が駆除業者に委託するなどして対応します。しかし、危険性の比較的小さいアシナガバチについては、区民自身が巣を除去することも可能なため、安全で安価に巣の除去ができるよう駆除機材の貸出が求められています。</p>			
----------	---	--	--	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	6 区民要望	7 関係団体からの要望	
-------------	------------	--------	-------------	--

2 運営方針等との関係	港南区運営方針 施策1 安全・安心のまちづくり
-------------	-------------------------

3 根拠法令・要綱等	<ul style="list-style-type: none"> <li>食品衛生法、横浜市食品衛生法に基づく公衆衛生上講ずべき措置の基準に関する条例、食品安全基本法、横浜市食品衛生監視指導計画</li> <li>動物の愛護及び管理に関する法律、狂犬病予防法、横浜市動物の愛護及び管理に関する条例、横浜市動物愛護管理業務計画</li> <li>横浜市環境衛生業務実施計画、横浜市スズメバチ等対策要領</li> </ul>
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度見込み	31年度見込み	32年度見込み
食品衛生講習会	36	35	24	20	25	30	30
犬猫苦情受付	313	269	316	340	300	300	300
ハチ駆除機材貸出	19	20	14	25	20	20	20

【実施内容】

- 1 食の安全推進事業 【事業費】 450千円
  - (1) ノロウイルス等による大規模食中毒の発生防止
 

【実施目的・内容】 ノロウイルス等は乳幼児や高齢者が感染した場合、重篤な症状を引き起こすことがあり、一旦施設内で発生すると被害規模が大きくなることが予想されます。社会福祉施設等給食を重点対象施設と位置づけ、衛生指導を実施します。

【実施場所】 社会福祉施設等の給食施設

【実施スケジュール】 小学校給食施設一斉（6月～7月）、病院給食一斉（6～12月）、保育園等給食一斉（6～9月）、その他社会福祉施設等給食一斉（10～1月）

【対象者】 各施設への衛生指導を通じ、これらの施設を利用する区民の健康被害発生防止を図ります。

【実施方法】 各施設へ立ち入り指導を行います。特に保育園等へは正しい手洗方法を重点的に啓発します。
  - (2) 地域への食中毒予防啓発
 

【実施目的・内容】 家庭における食中毒等の発生防止に向けて、地域への積極的な食中毒予防啓発として出前講習会を実施します。また、講習会の実施にあたっては福祉保健センター内で連携し、食育や健康づくりなどのテーマを取り入れて実施することを検討します。

【実施場所】 各地域における会場

【実施スケジュール】 地域での食中毒予防出前講習会（通年）、ボランティア衛生講習会（通年）

【対象者】 各地域における区民（町内会、ボランティアグループ単位等）

【実施方法】 各地域において衛生講習会を実施します。また、地域でのイベントの際に衛生指導を行い、衛生用品等を配布します。
- 2 動物の適正な飼育啓発事業 【事業費】 580千円
  - (1) 犬・猫の飼い方（しつけ方）教室
 

【実施目的・内容】 犬や猫を飼い始めた飼い主や飼い方（しつけ方）で悩んでいる飼い主を対象とした講座（犬と猫で別開催）

【実施場所・時期】 区役所会議室（予定）、9月下旬（動物愛護週間）～11月頃

【対象者】 主に犬や猫の飼い主を中心とした区民

【実施方法】 適正飼育推進員や民間インストラクター等と実施します。
  - (2) 飼い主のいない猫対策事業
 

【実施目的・内容】 飼い主のいない猫への対応として、適正な頭数制限を目的として、日頃から地域で不妊去勢手術等の活動を行っている区民等を支援します。

【実施方法】 猫の捕獲に詳しく、活動に賛同するボランティアを登録するとともに、猫の捕獲器を購入します。区民から不妊去勢手術のため捕獲器貸出の要望があった場合には、ボランティアを介して貸出しを行います。
  - (3) 長寿動物の飼い主表彰式
 

【実施目的・内容】 犬猫等動物を永年飼育してきた飼い主を表彰し、他の飼い主の模範とすることにより、広く区民に動物愛護精神の育成を図ります。

【実施場所】 区役所会議室（予定）、9月下旬（動物愛護週間）

【対象者】 長寿動物の飼い主等（おおむね16才の犬猫等）

【実施方法】 区が16才以上の犬で適正飼育を行っている飼い主を推薦し、港南区獣医師会が犬、猫、その他長寿動物の優良飼い主を推薦します。
  - (4) 動物連絡会との協働
 

【実施目的・内容】 獣医師、動物適正飼育推進員、自治会、保健活動推進員、学校関係者、動物ボランティア等からなる動物連絡会との協働により、啓発リーフレットの作成等の事業を実施します。

【実施場所・時期】 区役所会議室（意見交換会やリーフレット作成編集会議など）

【対象スケジュール】 意見交換会、リーフレット作成編集会議（7月、11月、3月）
- 3 災害時のペット同行避難支援事業 【事業費】 582千円
 

【実施目的・内容】 大規模な地震や災害時、地域防災拠点にペットを伴い避難する方が想定されます。そのため、地域防災拠点の避難訓練の際にペットとの同行避難について啓発を行い、災害発生時にペットの飼い主が協力してペットと人が安心して避難できるよう訓練の支援を行います。

【実施スケジュール】 地域防災拠点運営委員会連絡協議会等で周知（6月）、地域防災拠点、町内会等への説明（随時）、災害時のペット同行避難訓練（地域防災拠点訓練時9～11月）

【対象者】 ペットの飼い主、地域住民
- 4 ハチ対策事業 【事業費】 30千円
 

【実施目的・内容】 比較的危険性の少ないアシナガバチを対象に、駆除器材の貸出を区役所で行っています。

【区制50周年の事業展開】

生活衛生課で実施するイベント、講習会等にて、参加者へ区政50周年をPRします。

【障害者就労施設等からの調達取組】

生活衛生課で作成する啓発チラシ等の印刷発注を行います。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
食の安全推進事業	自 450	自 510	△ 60	社会福祉施設給食の支援
動物の適正な飼育啓発事業	自 580	自 585	△ 5	事業見直しによる減
災害時のペット同行避難支援事業	自 582	自 230	352	動物病院等へのケージ配
ハチ対策事業	自 30	自 30	0	ハチ駆除機材の貸し出し
動物保護管理事業	自 5	自 5	0	
			0	
事業費合計	1,647	1,360	287	
内 自主企画事業費	1,647	1,360	287	
訳 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

港南区区民意識調査 港南区データ集

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	食品衛生 係
	待永 直昭	梅田 宏子	高橋 智樹

様式3-1

(様式3-1) 平成31年度 事業計画書【自主企画事業費】

[ 港南区 高齢・障害支援課 ]

No.	28
-----	----

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	高齢者	事業開始年度	平成16年度
------	-----------	---------	-----	--------	--------

事業名	高齢者元気応援事業
-----	-----------

特記事項	
中期計画-38の政策	○
中期計画-行政運営	
中期計画-財政運営	
重点事業	
新規・拡充	○
温暖化対策関連事業	

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
16	1・4
17	1・4

事業評価書番号	32
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,660					2,660
前年度	1,709					1,709
増△減	951	0	0	0	0	951

歳出		27年度	28年度	29年度	歳出		32年度	33年度
予算	事業費	1,234	1,354	968	予算	事業費	1,000	1,000
	メリット+一般財源	1,234	1,297	968		一般財源	1,000	1,000
決算	事業費	1,291	1,354	980	方針に関する決裁 種別( ) 有:件名( )、日付(年月) 無			
	メリット+一般財源	1,291	1,297	980				

事業の概要(目的)	地域で介護予防に取り組む団体や医療・介護に携わる多職種との連携を深め、認知症や在宅医療の普及啓発を行うことで、高齢者が自分らしい生活を継続できる地域づくりを支援します。
-----------	--

(説明)				
1 地域の課題等	港南区では急速に高齢化が進み30年3月末現在、高齢者数60,450人、高齢化率は28.1%と横浜市全体の24.1%を約4ポイント上回っています。高齢者ができるだけ要介護状態にならず、地域でいきいきと自分らしく生活するためには、地域住民、関係機関の連携をさらに進める必要があります。			
地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	6 区民要望	7 関係団体からの要望
2 運営方針等との関係	港南区運営方針 2見守り・支えあいのまちづくり 3誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり			
3 根拠法令・要綱等	介護保険法、横浜市介護予防普及啓発活動支援事業実施要綱、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画			

【実績の推移・今後見込み】

年度	H29	H28	H27	今後見込み
地域みんなで介護予防(支援者研修)	2月 20人 多職種連携がテーマ	3回 述ベ73	3回 72人	支援者の研修。地域の運動指導者数は維持できる予定。今後は、研修の目的、内容を再検討し、新たな人材の活用や把握に向けたアプローチが必要。
支援力強化事業(研修)		24人	24人	主に包括支援センター、区社協職員等が対象である。今後はテーマ設定や対象の拡大などの検討が必要。H29は区配予算で対応
在宅医療と介護の連携支援(医福ネット)	3回 411人	3回 431人	3回 362人	今後も継続発展に向けた運営支援を行い、医療・介護を中心とした多職種連携を深めていく。

【実施内容】

- 地域みんなで介護予防  
介護予防の目的を周知し、介護予防に取り組む人を増やすために、普及啓発グッズを作成、他課とも連携しながら、今まで参加しなかった層にも配布します。また、特定健診受診券発送時に介護予防のチラシを同封し、介護予防の取り組みを広げます。
- 認知症高齢者の理解と見守り強化事業  
認知症の正しい理解を広げるため若い世代にも興味を持ってもらえる講演会を開催します。  
関わり方を例示したリーフレットを配布し、地域での見守り支えあいを広げ、認知症になっても安心して生活できる地域をつくります。
- 在宅医療と介護の連携支援  
医療と介護の多職種が運営する自主活動グループ医福ネットを研修企画等で支援し連携を深めていきます。  
エンディングノートを作成し区民向け映画上映会・書き方講座等を通し、高齢者が自分らしく最期まで安心して生活するため、家族と話し合うきっかけになるツールとして普及啓発していきます。
- 生活支援体制整備外出支援促進事業  
区域の協議体で29年度から車を使った外出支援について検討をしています。外出支援から広がる生きがいづくりに地域貢献として携わる企業の意欲向上と、港南区の取組みアピールのため、協力事業者の車両に貼るマグネット式ステッカーを作成します。

様式3-1

5 高齢者と子どもふれあい交流事業

高齢者と地域の子どもたちが各種の交流を通して高齢者の生きがいを高めるとともに、子どもたちの健全育成を図ります。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

介護予防、認知症予防につながる事業を関係各課と情報交換し、互いに周知して多くの高齢者の健康づくりを促します。認知症を正しく理解する講演会や認知症サポーター養成講座を開催し、見守り体制を充実します。

【区制50周年の事業展開】

50周年記念事業として認知症普及啓発講演会を実施します。  
50周年ロゴマークを各配布物に入れ、課全体で展開します。

【障害者就労施設等からの調達の取組】

障害者の作品や青果物の活用を関係機関に協力を依頼します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
地域でみんなで介護予防	自 870	自 129	741	普及啓発グッズ配布
認知症高齢者の理解と見守り強化事業	自 800	自 530	270	認知症講演会実施
在宅医療と介護の連携支援	自 770	自 930	△ 160	映画エンディングノート上映
生活支援体制整備外出支援促進事業	自 100	自 0	100	マグネットステッカー作成
高齢者と子どものふれあい交流事業	自 120	自 120	0	
事業費合計	2,660	1,709	951	
内 自主企画事業費	2,660	1,709	951	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

横浜市統計ポータルサイト港南区年齢別人口（30年3月）、港南区区民意識調査

本資料は、公正・適正に作成しました	課長	係長	係
	竹田 良雄	大木桂子・品川勝史・服部敦	大木桂子・品川勝史・服部敦

[ 港南 区 高齢・障害支援 課 ]

予算区分	地域福祉保健推進費	性質・課題区分	障害児・者	事業開始年度	平成15年度
------	-----------	---------	-------	--------	--------

事業名	障害者いきいき生活応援事業
-----	---------------

特記事項	中期計画-38の政策 中期計画-行政運営 中期計画-財政運営 重点事業 新規・拡充 温暖化対策関連事業
------	--

中期計画-38の政策	
政策番号	主な施策番号
31	3
31	6

事業評価書番号	33
事業評価書番号	

(単位：千円)

区分	金額	財源内訳				一般財源
		国・県	諸収入			
本年度	2,450					2,450
前年度	1,776					1,776
増△減	674	0	0	0	0	674

歳出	27年度	28年度	29年度
予 算	1,570	1,640	1,670
決 算	1,570	1,640	1,670
予 算	1,344	1,560	1,573
決 算	1,344	1,560	1,573

歳出	32年度	33年度
予 算	2,000	2,000
決 算	2,000	2,000

方針に関する決裁 種別( )  
 有:件名( )、日付(年月)  
 無

事業の概要(目的)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害児者及び家族が地域で安心して生活が送れるよう、居場所の提供等による支援を実施します。</li> <li>・ 障害者施設と協働し、地域の中で充実した生活が送れるよう様々な支援を実施します。</li> <li>・ 地域に対し、障害理解を促進するための普及啓発の取組を実施します。</li> </ul>
-----------	---

(説明)

1 地域の課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害のある方が安心して地域で生活していくための相互のつながり、見守り支えあい体制の構築</li> <li>・ 障害のある方に対する理解についての普及啓発</li> <li>・ 障害のある方の健康づくり</li> </ul>
----------	--

地域の課題等の収集手段	1 日常の窓口対応等	3 地区担当制度	6 区民要望	7 関係団体からの要望
-------------	------------	----------	--------	-------------

2 運営方針等との関係	H30運営方針 【施策2】見守り・支えあいのまちづくり 【施策3】誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり
-------------	--

3 根拠法令・要綱等	身体障害者福祉法、知的障害者福祉法、精神保健福祉法、障害者総合支援法、港南区青年学級補助金交付要綱、障害者施設自主製品販売促進事業補助金交付要綱、地域主導型居場所提供事業補助金交付要綱、夏休み学齢障害児支援事業補助金交付要綱(改正予定)
------------	--

【実績の推移・今後見込み】

	H31見込み	H30見込み	H29	H28
精神福祉出前講座参加者数	150	150	133	178
青年学級参加者数	250	250	250	326
地域とのつながりを目的とした	650	650	662	657
居場所提供事業参加者数	100	100	98	93

【実施内容】

- 精神保健福祉相談事業
  - ・ 精神保健福祉にかかる普及啓発を図るため、ケアマネージャーや民生委員、地域ケアプラザ職員、地域住民等を対象に、地域ケアプラザにおいて連続講座を実施します。
- 青年学級事業
  - ・ 軽度知的障害者が区民とふれあいながら、仲間づくりや時間、話題を共有できる活動を支援します。
- 地域とのつながりを目的とした障害児者支援事業 (H31年度からの事業目的・名称の変更)
  - ・ これまで、夏休み期間中の学齢障害児の余暇支援及び保護者のレスパイト等を目的として実施していた事業について、「当事者及び家族と地域とのつながり」を主目的とし、また対象を「学齢期からの移行期も含めた障害児者」へと拡大するなどの事業転換を行います。
  - ・ 区内在住の障害児者(主に学齢児～20歳まで)を対象とし、地域とのつながりの支援を目的に、各地域ケアプラザなどで実施する事業を支援します。
- 地域主導型居場所提供事業
  - ・ 地域が主体となって実施する障害児の居場所提供事業を支援します。
- 障害者施設販売促進事業
  - ・ 障害者施設の自主製品販売支援を通じ、障害の理解啓発や社会参加の機会を提供します。
  - ・ 自主製品の販売を行っている障害者施設を紹介するパンフレット等を作成し、広報活動に活用します。

●重点課題等対応経費

- ・ 横浜ラポールのランチ機能（上大岡）の供用開始（31年度中予定）に合わせて、障害者スポーツをテーマとした催事を実施します。
- ・ 障害者スポーツ普及のため、普及活動の際に使用する用具等を購入します。
- ・ 市民向け障害理解普及啓発のため、啓発ポスター・啓発ファイルを作成します。

【区役所を挙げて取り組むテーマ「防災・減災」「見守り・支えあい」「健康づくり」を進める取組】

<見守り・支えあい>

- ・ 「地域とのつながりを目的とした障害児者支援事業」において障害児者・保護者が、地区民生委員との顔合わせや交流ができる機会を提供します。
- ・ 障害者地域作業所が持っている需要をくみとり、シルバークラブ等地域との交流の機会を創出します。
- ・ 地域防災拠点における訓練について、障害者参加型訓練の実施勧奨及び当事者・支援者への参加勧奨を行います。

<健康づくり>

- ・ 主に知的障害者を対象とした「認知症予防講座」（＝ロールケーキの会）を実施します。
- ・ 障害のある方が気軽に楽しめるスポーツを知る・楽しむ機会を提供します。
- ・ スポーツをとおした健康づくり推進のための取組を実施します。
- ・ グループホームや日中活動事業所向けに健康講座や口腔衛生講座を実施します。
- ・ 「野菜たっぷりパン・弁当」の制作・販売を地域作業所と協働で行い、食を通じた健康づくりに取り組みます。

（参考：区配事業）

- ・ 自殺対策講演会等の実施

【区制50周年の事業展開】

- ・ 横浜ラポールのランチ機能（上大岡）の供用開始（31年度中予定）に向け、障害者スポーツをテーマとした催事を実施します。【再掲】
- ・ 障害者施設の自主製品に区制50周年に関するラッピングなどを行い、区制50周年の機運と、障害理解の向上を図ります。

【障害者就労施設等からの調達の取組】

- ・ 調達可能性のあるものについては、積極的に調達を実施します。

【事業費の内訳】

細目事業名	本年度	前年度	差引	説明
精神保健福祉相談支援事業	200	200	0	
青年学級事業	270	270	0	
地域とのつながりを目的と	400	400	0	
地域主導型居場所提供事業	80	80	0	
障害者施設自主製品販売促	700	100	600	パンフレット等作成経費
重点課題等対応経費	800	726	74	啓発物品等作成経費
事業費合計	2,450	1,776	674	
内 自主企画事業費	0	0	0	
内 重点事業	0	0	0	

【根拠とするデータ等】

関係者及び関係団体への聞き取り、事業参加者アンケート、自立支援協議会でのニーズ調査 等

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	障害者支援担当
	竹田 良雄	池畑 和輝	池畑 和輝